

リアホナ

モルモン書の 学習を 充実させる

5, 34-41ページ

ミニスタリングは
靈感によって与え
られた仕えるための手段 8ページ

バラード会長：
回復のための
神の備え 12ページ

子供と青少年

教会指導者が
9つの質問に答える 20ページ
青少年が目標に到達するのを
助ける 26ページ

世界の
教会

ドイツ ライプツィヒ





1519年のライプツィヒ。マルティン・ルターの引き起こした議論が宗教改革を押し進め、それがこの世を回復に備えさせる助けになりました。

今日のドイツにおける末日聖徒イエス・キリスト教会の実情は以下のとおりです。

ステーキ（一つはライプツィヒの中心街にある）



14

3

KIRCHE
JESU CHRISTI
DER LETZTEN ZEIT

伝道部

神殿

2



教会員

39,917

ワードおよび支部

152



1843年 ダルムシュタットで、最初の教会が組織される

1961年 3つのステーキが組織される。

1985年 フライベルク神殿が、当時は東ドイツだった場所で奉献される。2016年に再奉献。

2019年 10月にフランクフルト神殿が再奉献される。



PHOTO: GETTY IMAGES



ミニスタリングによる
イスラエルの集合

8



子供と青少年——
力強いスタートを切る

20



主はどのように回復に向けて世を備えられたか
M・ラッセル・バラード会長

12



若い世代を鼓舞する
ウェンディー・ウル
リッヒ

26

未来に目を向け、 過去から学ぶ



世界のほとんどどこでも、新年は未来を考える時です。しかしそれは、過去から学ぶ時でもあります。これまで歩んできた道と、これから進む道とが交差するこの時点で、わたしたちは成長の機会を見いだすのです。

そのような趣旨で、今月号では未来に向けての胸躍る新たな変更事項を特集するだけでなく、これから起こることの中で自分の果たす役割を理解するために、過去

についても探究します。

わたしたちは今年、最初の示現 200 周年を祝います。大管長会をはじめとする何人かの人々が、過去を調べ、未来を形造るのに役立つ一連の記事を準備しました。今月号では十二使徒定員会会長代理の M・ラッセル・バラード会長が、今なお続く神の王国の回復と、再臨にわたしたちを備えさせる主の業の中で、自分がどんな位置にあるのかを理解できるように助けてくれます (12 ページ参照)。

未来に目を向けることについても、今月号は子供と青少年をサポートする教会の新たな取り組みに関するリソースを提供しており (20 ページと 26 ページ参照)、個人と家族用のモルモン書の学習コースも始まります (34 ページと 38 ページ参照)。青少年向けの記事では、新しいユーステーマを紹介しています (56 ページと 60 ページ参照)。

わたしたちは過去の成長を励みに、力を合わせて進んでいきます。「リアホナ」が今後も引き続き、家庭中心の福音学習をサポートするうえで価値あるリソースとなれば幸いです。

アダム・C・オルソン

5 **モルモン書から得られる洞察**

イエス・キリストは……

6 **信仰の肖像**

レイチェル・ライトホール ——アメリカ合衆国, カリフォルニア州
壊滅的な火事の中, 信仰は彼女に神の御手が分かるよう助けました。

8 **ミニスタリングの原則**

ミニスタリングによるイスラエルの集合
ミニスタリングが, イスラエルを集めるようにという預言者の勧告にどの
ように当てはまるか見てください。

12 **主はどのように回復に向けて世を備えられたか**

M・ラッセル・バラード会長
歴史上の多くの改革は主の計画の一部でした。

20 **子供と青少年 —— 力強いスタートを切る**

教会指導者があなたの質問に答えます。

26 **若い世代を鼓舞する**

ウェンディー・ウルリッヒ
子供たちが目標を立てて達成できるよう助ける際に, これらの 4 つの方法
を検討してください。

30 **末日聖徒の声**

娘が証の貯蔵庫を見つける; 神殿でのバプテスマが家族を一つにする;
平安をもたらすためアドバイスが戻って来る; 悲劇が新しい機会に代わる

34 **知ることはずばらしいですが, それだけでは不十分です**

スティーブン・C・ハーパー
モルモン書の証人に会った人たちに会いましょう。

38 **わたしに従ってきなさい —— モルモン書**

これらの毎週の記事を使って, 今年のモルモン書の研究をさらに高めるこ
とができます。

短編記事



表紙
写真/クリスティーナ・スミス

コーナー

ヤングアダルト

42

過ちは人生の一部ですが, それ
らがわたしたちについて決める
わけではありません。救い主は
わたしたちを愛し, 変わるのを
助けてくださ
います。どの
ように悔い改
めは祝福なの
か, ヤングアダ
ルトの話を読
んでください。



青少年

50

「子供と青少年」がどのように
役立つか学んでください。中
央若い女性会長会と中央若い
男性会長会が今年ユース
テーマについて伝えます。一人
の宣教師がモルモン書
の力を解き放ちます。



子供

フレンド

尊いモルモン書をほめたたえま
しょう。モンゴルの教会員につ
いて読んでください。イエス様
と同じように成長する方法を学
んでください。



1月号のデジタル版のみの特集記事

知らぬ間に御霊に導かれ
ライッサ・シュライター

ブラジルのヤングアダルトは、教会に入るために御霊の導きを感じていたことが分かります。

予期せぬ妊娠から道に戻るまで
ジョリ・リード

アメリカ合衆国、デラウェア出身のヤングアダルトはキリストのもとへ戻る旅について伝えます。

永遠を選ぶ
エビータ・アラボディ

ベルギー出身のヤングアダルトは、悔い改めと自分自身を赦すことについて分かち合っています。

モルモン書のおかげで天が開くまで
ジェシカ・パターソン・ターナー

一人のヤングアダルトは、イエス・キリストについてのもう一つの証であるモルモン書が彼女をより良い方へ変えてくれた方法を分かち合います。

リアホナ 2020年1月号
第22巻1号(16716 300)

末日聖徒イエス・キリスト教会国際機関誌(日本語版)

大管長会: ラッセル・M・ネルソン、ダリン・H・オークス、ヘンリー・B・アイリング

十二使徒定員会: M・ラッセル・バラード、ジェフリー・R・ホランド、ディーター・F・ウークトドルフ、デビッド・A・ベドナー、クエンティン・L・クック、D・トッド・クリストファーソン、ニール・L・アンダーセン、ロナルド・A・ラスバンド、ゲリー・E・スティーブソン、テール・G・レンランド、ゲレット・W・ゴング、ウリセス・ソアレ

編集長: ランディー・D・ファンク

顧問: ベッキー・クレフ、シャロン・ユージン、クリスティナ・B・フランコ、ウォルター・F・ゴンザレス、ラリー・S・ケナーン、アドリアン・オチョア、マイケル・T・リングウッド、バーン・P・スタンフィル

実務運営ディレクター: リチャード・I・ヒートン

教会機関誌ディレクター: アラン・R・ロイボグ

ビジネスマネージャー: ガーフ・キャン

編集主幹: アダム・O・オルソン

編集主幹補佐: ライアン・カー

出版補佐: カミラ・カストリジョン

執筆・編集: デビッド・ディクソン、デビッド・A・エドワーズ、マシュー・D・フリット、ギャレット・H・ガーフ、ジョン・ライアン・ジョンソン、アロン・ジョンソン、シャロット・ラババル、マイケル・R・モリス、エリック・B・マードック、ジョシュア・J・パーキ、ジョン・ピンボロ、リチャード・M・ロム、ミンディー・セル、ローラ・フラー、ソウサ、チャケル・ワドレイ、マリッサ・ウイティン

編集インタン: メーガン・ヨスト

実務運営アートディレクター: J・スコット・クヌーセン

アートディレクター: タッド・R・ピーターソン

デザイン: ジャネット・アンドリュース、フェイ・P・アン、マンディー・ベントレー、C・キンボール、ボット、トーマス・チャイルド、ジョシュア・デニス、デビッド・グリーン、コリン・ピンクレー、エリック・P・ジョンソン、スーザン・ロフグレン、スコット・M・ムーイ、エミリー・チエコ、レミントン、マーク・W・ロビンソン、K・ニコール・ウォーケンホースト

デザインインタン: ケルシー・リンフォード

版權および許諾コーディネーター: コレット・ネベカー・オー

制作主幹: ジェーン・アン・ピーター

制作: アイラ・グレン・アデア、ジュリー・バーテット、トーマス・G・クロニン、ブライアン・W・ギューギ、

ニー・J・ニコルソン、マリッサ・M・スミス

製版: ジョシュア・デニス

印刷ディレクター: スティーブン・T・ルイス

配送ディレクター: ネルソン・ゴンザレス

日本語版翻訳課長: 大森陽子

郵便先: Liahona, Fl. 23, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150-0023, USA.

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00150-0-604351)にて教会管理本部配送センターへ送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩 5-8-6 / 末日聖徒イエス・キリスト教会管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会

〒106-0047 東京都港区南麻布 5-10-30

電話: 03-3440-2351

価格 年間購読: 国内 1,090円(送料込み)

海外在住の方はお近くのデストリビューションセンターへのお申し込みをお勧めします。

普通号/大会号 110円

もっと読む

福音ライブラリーアプリと liahona.ChurchofJesus-Christ.org で、以下のことができます:

- 最新号を閲覧する。
- デジタル版のみの特集記事を見つける。
- 機関誌のバックナンバーを探す。
- 自分の話やフィードバックを送る。
- 定期購読に申し込む、またはだれかに定期購読を贈る。
- デジタルツールを使って学習の質を高める。
- 好きな記事やビデオを共有する。
- 記事をダウンロードまたは印刷する。
- 好きな記事の音声を聴く。

お問い合わせ

質問やフィードバックは liahona@ChurchofJesus-Christ.org まで電子メールでお送りください。

信仰を鼓舞する話を、liahona.ChurchofJesus-Christ.org から送信するか、以下の住所に郵送してください。

Liahona, floor 23

50 E. North Temple Street

Salt Lake City, UT 84150-0023, USA

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。アルメニア語、アルメニア語、ビスマラ語、ブルガリア語、カンボジア語、セブアノ語、中国語、中国語(簡体字)、クワチア語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、英語、エストニア語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、ハンガリー語、アイスランド語、インドネシア語、イタリア語、日本語、キリバス語、韓国語、ラトビア語、リトニア語、マダガスカル語、マールシャル語、モンゴル語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、サモア語、スロベニア語、スペイン語、スウエーデン語、スウェーデン語、タガログ語、タヒチ語、タイ語、トンガ語、ウクライナ語、ウルドゥー語、ベトナム語(発行頻度は言語により異なります。)

© 2020 Intellectual Reserve, Inc. All rights reserved. 印刷: 韓国

著作権情報: 制限の記載がない限り、「リアホナ」に掲載されているものは、個人的に、また非営利目的(教会の召しも含む)で使用する場合に複写することができます。この指示内容は変更の可能性が常にあります。複製資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複写できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Fl. 13, Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール — cor-intellectual

property@ChurchofJesusChrist.org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada: December 2019 Vol. 43 No. 12. LIAHONA (USPS 311-480) English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (American Express, Discover, MasterCard, Visa) may be taken by phone or at store.lids.org. (Canada Post Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send all UAA to CFS (see DMM 507.1.5.2). NONPOSTAL AND MILITARY FACILITIES: Send address changes to Distribution Services, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368, USA



イエス・キリストは……

イスラエルの聖者

創造主

救い主

神の小羊

神の御子
独り子

贖い主

メシヤ

良い羊飼い

「見よ、その道は人にとって狭いが、人の前にまっすぐであり、門を守る者は**イスラエルの聖者**である。聖者はここには僕を使われない。」(2 ニーファイ 9:41)

「そしてこの御方は、イエス・キリスト、神の御子、天地の父、時の初めからの万物の**創造主**と呼ばれ……る。」(モーサヤ 3:8)

「もしあなたがたがキリストを信じて、わたしたちの**救い主**の模範に従って、……まず水でバプテスマを受け、次に火と聖霊によってバプテスマを受けるならば、あなたがたは裁きの日に幸いを得るであろう。」(モルモン 7:10)

「**神の小羊**〔は〕永遠の御父の御子であって、世の救い主であられる〔。〕すべての人はこの救い主のみもとに来なければならず、そうしなければ救われない〔。〕」(1 ニーファイ 13:40)

「この神は肉体に宿られるので、**神の御子**と呼ばれる。」(モーサヤ 15:2)

「それゆえ、悔い改めて、心をかたくなにしない者はだれであろうと、わたしの**独り子**を通じて憐れみを受け、罪の赦しを得る権利を持つ。」(アルマ 12:34)

「それでわたしは、あなたが**贖い主**の義によって贖われていることを知っている。それは、時が満ちると人に救いをもたらすために贖い主が来られることを、あなたが見たからである。」(2 ニーファイ 2:3)

「〔リーハイは〕、自分が見聞きしたことや、あの書物で読んだことが、**メシヤ**の来臨……をはっきり表していると、証した……。」(1 ニーファイ 1:19)

「**良い羊飼い**はあなたがたを呼んでおられる。しかも御自分の御名、すなわちキリストの御名によってあなたがたを呼んでおられる。」(アルマ 5:38)

レイチェル・ライトホール

(アメリカ合衆国, カリフォルニア州)



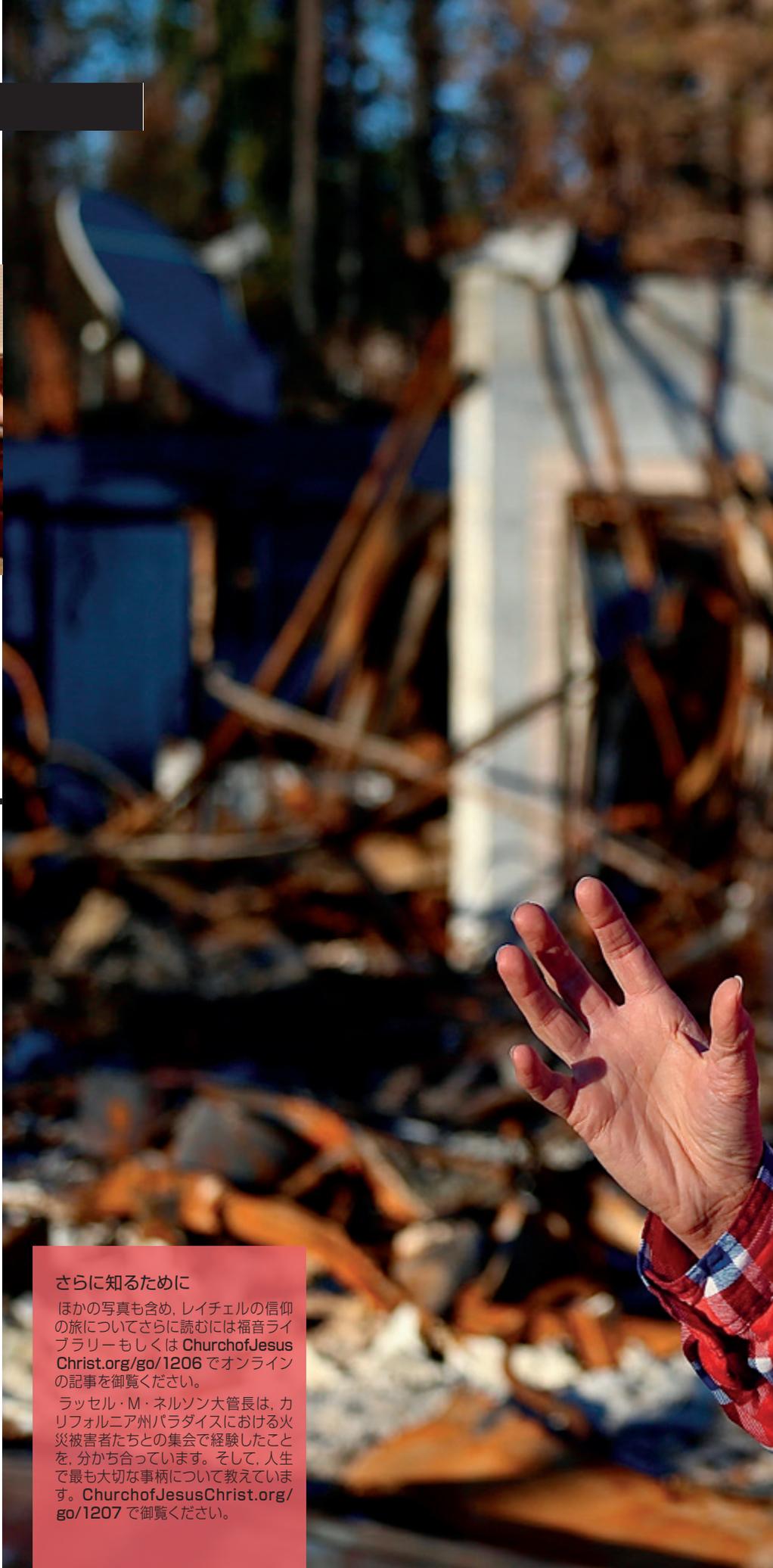
レイチェルがかつて住んだ場所で、灰とがれきの中を歩き回っても、言うまでもなく、そこには何もありません。しかし、カリフォルニア州パラダイスを襲った火災の後にも、彼女には信仰のあることが分かるでしょう。自らの生活の中に、神の御手を見ていると語っているからです。

リチャード・M・ロムニー, 写真家

神を信じる人々は皆、この火災の中に神の御手を見ました。何かとてつもない奇跡が一つ起きて、神の存在をだれかに証明するようなことはできないかもしれません。しかしここパラダイスで、神は数え切れないほどの小さな奇跡を起こされました。神を信じるなら、至る所で神の御手を見ることができます。たとえそれが困難なことではあっても、同時にそれは奇跡です。神はまさに、わたしたちが学ぶ必要のある事柄を学べるように助けてくださっています。

こうした事態に対処できるように、神は長年にわたってわたしとともに働いてきてくださいました。これまでもわたしの人生には様々な「災害」があり、それらは、神が人生を見事なまでに導いてくださっていることを知る助けになりました。

完全に高尚な目的と意味を持たないような困難を経験することはありません。神がわたしを教えられるままにすると、必ず自分の問題から学び取ることができる、ということにわたしは気づきました。神がこうした困難にわたしたちが遭遇するのを許されるのは、神を信頼し、愛することができるようにされるためです。困難な事態が生じると、そこには必ず神がおられます。



さらに知るために

ほかの写真も含め、レイチェルの信仰の旅についてさらに読むには福音ライブラリーもしくは [Church of Jesus Christ.org/go/1206](https://ChurchofJesusChrist.org/go/1206) でオンラインの記事を御覧ください。

ラッセル・M・ネルソン大管長は、カリフォルニア州パラダイスにおける火災被害者たちとの集会で経験したことを、分かち合っています。そして、人生で最も大切な事柄について教えています。 [Church of Jesus Christ.org/go/1207](https://ChurchofJesusChrist.org/go/1207) で御覧ください。



ミニスタリングの原則

ミニスタリングによる イスラエルの集合

ミニスタリングは、イスラエルを集めるようにという預言者の勧告に従う機会です。

ラッセル・M・ネルソン大管長は、「今日地上で行われていることの中で最も重要な事柄」であるイスラエルの集合を助けるようにと、わたしたちに呼びかけています。¹

このイスラエルを集める業に携わりたいと望む人々にとって、ミニスタリングはすばらしい機会となります。主の救いの業はすべて一つの業であるため、ミニスタリングは人々の生活を変えるために靈感によって与えられた一つの手段なのです。あまり活発でない会員にミニスタリングを行うにせよ、彼らの助けを借りて信仰の異なる人々に仕えるにせよ、ミニスタリングはイスラエルを集める機会となります。





重荷を負い合う

「わたしたちの羊は、傷を負い、迷っているか、あるいは故意にさまよっているかもしれません。わたしたちは羊飼いととして、羊の必要を最初に見いだす者となることができます。わたしたちは耳を傾け、裁くことなく愛し、聖霊の導きによって見極めて、希望と助けを与えることができます。」—— ボニー・H・コードン²

「わたしは、朝7時発の帰りの飛行機で、隣の席の女性をそっと観察しました。離陸する前にアルコール飲料を注文していたこの女性は、結婚しているかとわたしに尋ねてきました。わたしは彼女に対して**否定的な判断**を下し始めました。

わたしは、『ええ、4人の子供と4人の孫がいます』と幾分誇らしげに答えました。

その後に女性から告げられたことを聞いて、すべてが一変しました。女性の夫は5日間昏睡状態に陥った挙げ句、前日に亡くなったばかりだったのです。女性は救急医であったにもかかわらず、休暇中に倒れた夫を救うことができませんでした。

わたしは早計な判断がまったく的的外れだったことを恥ずかしく思いました。彼女に何と言えばいいのでしょうか。落ち着きを取り戻すと、わたしは、この女性に仕え、福音の貴い真理の幾分かを分かち合うことができるよう、天の御父が**御霊を注いでくださっている**のを感じました。

女性は、どの教会にも通っていないものの、イエス・キリストを信じ、聖書を読んでいることを、わたしは**知りました**。末日聖徒イエス・キリスト教会を知っているかと尋ねると、あまりよく知らない、と女性は答えました。わたしは、リチャード・G・スコット長老(1928 - 2015年)の総大会説教『結婚がもたらす永遠の祝福』を紹介し、家族は永遠であることについて、また天の御父はわたしたち一人一人を御存じで愛しておられることについて**証しました**。女性は自分の育ったアメリカのハワイに行くところだということだったので、ハワイ州ライエ神殿に行ってみよう**勧めました**。

わたしたちはユタ州ソルトレーク・シティーの空港で別れました。わたしの過ちにもかかわらず、主がわたしを使ってくださり、愛と慰めを必要としている姉妹に手を差し伸べられるようにしてくださったことに、心から感謝しています。」

ジョン・ティベッツ(アメリカ合衆国、ユタ州)

考慮すべき原則

「否定的な判断」

早計な判断は、神になれる可能性を見えなくしてしまいます(マタイ7:1参照)。

「御霊を注いでくださる」

言うべきことを、主がその瞬間に授けてくださると信じます(教義と聖約100:5-6参照)。

「知りました」

人が何を信じているのか尋ね、思いやりをもって耳を傾け、その人の信条に敬意を払います。

「証しました」

主が自分の生活の中でどのようなことをしてくださったかを証する機会を探します(モーサヤ24:14参照)。

「勧めました」

聖霊の証を受けることができるよう、真理に従って行動するよう勧めます(ヨハネ7:17; モロナイ10:5参照)。



考慮すべき原則

「犬アレルギーがあるにもかかわらず、毎月訪問してくれました」

ほかのことよりもミニスタリングの相手が大切だということを示すにはどうすればよいでしょうか（教義と聖約 121：44 参照）。

「質問」

適切な質問をすることで、自分を顧みることができるようになります。ミニスタリングには社交以上の目的があることを覚えておきましょう。⁴

「待っていてくれた」

だれもが歓迎されていると感じるべきです（3 ニーフアイ 18：32 参照）。

「戻る旅路において隣にいてくれた」

つまずきながら救い主のもとに戻って癒されようとしている人に対して、わたしたちの支えには大いに貢献する力があります（ヘブル 12：12－13 参照）。

教会に戻ろうとしている会員を救う

「愛を動機とするなら、奇跡が起こり、『行方知れず』だった兄弟姉妹がイエス・キリストの福音のすべてを受け入れられるよう助ける方法を見いだすでしょう。」——ジーン・B・ビンガム³

「夫とともに初めての町に引っ越した当時、わたしはすでに6年以上教会に行っていないでいました。新しい扶助協会会長が訪ねて来て、わたしを訪問する姉妹に来てもらってもよいかと聞いてきました。少し不安を覚えながら、わたしは承諾しました。この姉妹は、**犬アレルギーがあるにもかかわらず、毎月訪問してくれました**。おまけに、我が家の犬はとても人懐っこい性格でした。彼女のミニスタリングは2年間続き、わたしは多大な影響を受けました。

彼女の訪問はたいがい、まったくの社交的なものでしたが、時折、霊的な会話のきっかけとなる**質問**をしてきました。わたしにとっては多少気まずい会話でしたが、おかげで福音に進むのか、このままでいるのかを決める気になりました。この決断には悩みましたが、姉妹宣教師と話すことにしました。

ある日、聖餐会に出席するため6年ぶりに教会に行ったのですが、中に入るのが怖くなりました。教会に足を踏み入れると、ミニスタリングシスターが**わたしを待っていて**、一緒に礼拝堂に入ってくれました。後で車まで送りながら、わたしが救い主に近づけるようどう助けるのがいちばんよいかと尋ねてくれました。

ミニスタリングシスターが時間を取り、愛を注いでくれたおかげで、わたしは再び教会に通うようになりました。彼女がしてくれたことは、これまでに受けた最大の贈り物だと思っています。わたしが救い主の教会に**戻る旅路において隣にいてくれた**ことに心から感謝します。」

匿名（カナダ、ブリティッシュコロンビア州）

ミニスタリングと集合

「どんな方法であれ、あなたにとって自然で普通であると思われる方法で、イエス・キリストと教会が自分にとってなぜ大切であるかを人々に伝えてください。……

……あなたの役割は、自分の心の中にあることを伝え、自分が信じていることに従って生活することです。」——ディーター・F・ウークトドルフ⁵

ミニスタリングと福音を伝えることは、密接に関連しています。以下に挙げるのは、わたしたちがミニスタリングをしながら友人や隣人を主のもとに集める方法です。あるいは、友人や隣人を主のもとに集めながらミニスタリングを行う方法です。

- **一緒に奉仕する。**助けを必要としている人を世話するよう、友人や隣人を誘う機会を探します。母親になったばかりの人のために食事を作ったり、高齢の隣人のために庭仕事をしたり、病人のために家の掃除をしたりするのを手伝ってもらえないか、聞いてみましょう。
- **一緒に教える。**あまり頻繁に教会に出席しない友人や隣人に、その人の自宅で宣教師にだれかのレッスンをしてもらったり、あなたが自宅でレッスンの場を設けるのを手伝ってもらったり、だれかの家で行われるレッスンと一緒に行くよう誘ったりするとよいでしょう。

- **手を差し伸べる。**割り当てを受けた人たちへのミニスタリングに加え、だれかが困っているのを目にしたらその人に手を差し伸べることもできます。教会の集会に行くのに車の送迎を申し出ましょう。その人の子供を青少年や初等協会の活動に誘いましょう。ほかにどのような方法でミニスタリングと集合の業を行えるでしょうか。
- **教会が提供しているリソースを用いる。**教会は会員が福音を伝えるのを助けるためのリソースをたくさん提供しています。福音ライブラリーアプリの「宣教師」の項に目を通したり、「来て見る」のビデオを見たり（ChurchofJesusChrist.org/go/12011）、ComeUntoChrist.orgにアクセスして、自分の住む地域でイスラエルを集める方法に関するアイデアを御覧ください。■

注

1. ラッセル・M・ネルソン「シオンのつわもの」（2018年6月3日、ワールドワイド・ユースディボーション）HopeofIsrael.ChurchofJesusChrist.org
2. ボニー・H・コードン「羊飼いと成る」『リアホナ』2018年11月号、76 参照
3. ジーン・B・ビンガム「ミニスタリング——救い主のように」『リアホナ』2018年5月号、106
4. 「ミニスタリングの原則——目的がミニスタリングを変える」『リアホナ』2019年1月号、8-11 参照
5. ディーター・F・ウークトドルフ「伝道活動——心の中にあることを伝える」『リアホナ』2019年5月号、1





皇太子御成婚の御慶賀
 THE FORCES OF LIGHT AND DARK (木ノ力) 二〇一〇年
 皇太子御成婚の御慶賀の御慶賀の御慶賀



十二使徒定員会
会長代理
M・ラッセル・
バラード会長

主はどのように回復に向けて 世を備えられたか

主は個人と家族、地域社会、国家、そして世界を祝福するために、御自分の福音の回復に向けて無数の方法で世を備えられました。

主は、1820年に御父と御子がジョセフ・スミスに御姿を現されるはるか前から、イエス・キリストの福音の回復に向けて世を備えておられました。実際、末日に完全な福音を回復するための準備は、地球が造られる前から行われていたのです。

ジョセフ・F・スミス大管長（1838 - 1918年）が1918年10月に受けた、教義と聖約138章として知られる啓示から分かるのは、末日聖徒イエス・キリスト教会の初期の指導者たちや多くの「**そのほか選ばれた霊たちも**霊界にいた」ということです。「彼らは、大いなる末日の業の基を据える務めに携わるために、時満ちる時代に来るようにとどめられていた者」なのです（教義と聖約138：53；強調付加）。

スミス大管長は、「彼らもまた……初めに選ばれた、高潔で偉大な者たちの中にいる」のを見たのでした（教義と聖約138：55）。そして、こう付け加えています。「**彼らは……ほかの多くの者とともに**、霊の世界において最初の教えを受け、主の定められたときに出て行って人々の霊の救いのために主のぶどう園で働く準備をしたので〔す〕。」（教義と聖約138：56；強調付加）

地が創造された後、古代の「預言者たちは、この世が始まって以来、」来るべき「万物更新」について語り、歌い、夢に見て、預言してきました（欽定訳〔英文〕使徒3：21から和訳。ルカ1：67 - 75も参照）。

主が回復に向けて世を備えられた方法のうち最も重要なものの一つは、パピルスと羊皮紙の発明および使用と時を同じくして起こった写本革命でした。下：現存する最古の新約聖書写本のパピルス一枚

イエス・キリストの教会を回復する最初の預言者について、ブリガム・ヤング大管長（1801 - 1877年）は、具体的にこう述べています。「主は〔ジョセフ・スミス〕のうえに、彼の父親のうえに、彼の父親の父親のうえに、そしてアブラハムに至るまで、彼の先祖に目を注がれました。そしてアブラハムからさらにさかのぼって洪水の時代、洪水の時代からエノク、エノクからアダムに目を注いでこられました。主はこの家系を見守り、この家系の血統が始祖からこの人の誕生まで継承されるのを見守ってこられました。〔ジョセフ・スミス〕はこの最後の神権時代を管理するよう永遠に予任されていたのです。」¹

今年、最初の示現 200 周年を祝うに当たり、主が回復に向けて世を備えられる間、何世紀にもわたって主から靈感を受けてきた数多くの男女に思いをはせるのはふさわしいことかもしれません。その回復は、1820年、救しと導きを求めていた少年ジョセフ・スミスに御父と御子が御姿を現されたときに始まったのです。

歴史を振り返って見ると、多くの改革が全世界で起こり、末の日に主の教会が回復されるために人々を備えさせていたことが分かります。²

写本革命

主が御自分の福音の回復に向けて世を備えられた方法のうち最も重要なものの一つは、写本革命でした。これは、パピルスと羊皮紙の発明および使用によって発展します。³

動物の皮から作られた羊皮紙は、古代から近代初頭まで、文字をつづる媒体として用いられていました。⁴ 知られているかぎり最古のヘブライ語聖書（旧約聖書）の写本、およびその後作られた多くの貴重な聖書の写本は、羊皮紙に書かれて保存されていたのです。⁵

「パピルス」という植物の茎の芯から作られるパピルス紙は、文字などを筆記する媒体として古代に使われた、もう一つの素材でした。新約聖書の最古の写本はパピルスに書かれて保存されています。

筆記者は、石や粘土版に書くのに比べ、この二つの筆記媒体を使った方が、靈感あふれる預言者や使徒を通して受けた神の言葉を容易に記録することができました。こうした記録媒体を用いて、名の知れぬ無数の筆記者たちは神聖な言葉を熱心に書き写し、幾つもの写本を作って送り、保存し、信仰の炎が決して消えることのないようにしたのです。

例えば、最近知ったのですが、「マタイによる福音書には 100 部を超えるギリシャ語版の写本があります。」ほかにも、中世に羊皮紙を使用して作られた聖書の写本は数多くあるのです。⁶

印刷革命

わたしがしばしば教えてきたように、主は救いの福音の回復のために世を備える画期的な別の一步を踏み出すよう靈感を与えられまし





ヨハネス・グーテンベルクは主の御手に使われて、世の人々の知識と理解力、神を信じる信仰を深めたのです。右端：グーテンベルク版聖書の版画ページ

た。最初中国で導入された印刷技術を、ドイツの金細工職人ヨハネス・グーテンベルクが応用して、1439年（または1440年）に印刷機を作り出したのです。⁷

グーテンベルクは主の御手に使われて、世の人々の知識と理解力、神を信じる信仰を深めました。⁸ この発明が発端となって印刷革命が起こります。この革命は思想や情報を容易に広く伝えることを可能にして世界を永遠に変えました。印刷は「変革の立役者」になったのです。⁹

グーテンベルクが自分の印刷機で聖書を出版した当時、ヨーロッパには約3万冊の本が存在したと、学者たちは推測しています。この発明から50年とたたないうちに、ヨーロッパに出回っている本は1,200万冊を超えるようになっていたのです。

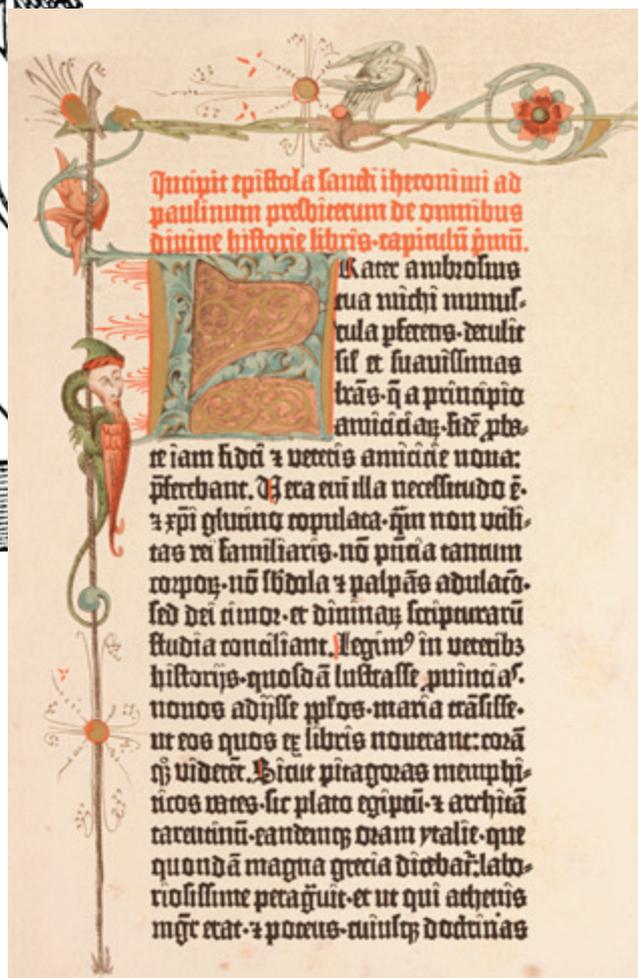
プロテスタントの宗教改革は、グーテンベルクの発明を活用してプロテスタントの思想を広め、それ以前の世代の人には想像すらできなかった方法で、一般庶民が聖書を手にすることができるようにしました。

識字革命と聖書の翻訳

印刷革命は読み書きの能力の向上を促進し、聖文の神聖な言葉を自分の言語で読みたいというヨーロッパ庶民の渴望を募らせ、また、それらに支えられて進行していきました。

紀元5世紀にギリシャ語とヘブライ語から翻訳されたラテン語訳聖書は、千年にわたって西洋カトリック教会の公式な聖書となっていました。¹⁰ ヨーロッパ人の多くは何世紀もの間、おもに司祭の説教から聖書について学んでいました。

しかし、15世紀から16世紀になると、宗教改革者たちは新たに聖書を翻訳します。ドイツ語やイタリア語、英語、スペイン語、フランス語といった、ヨーロッパで通常用いられている言語で聖書を読めるようにしたのです。こうした翻訳は、基本的にヘブライ語とギリシャ語の原本から翻訳されたもので、ラテン語の聖書から翻訳されたものではありませんでした。これによって、何万もの人々が聖書の話や教えを自分の言語で読めるようになったのです。



1483年に生まれたマルチン・ルターは、その時代の言語で聖書を出版する活動を行った先駆者の一人でした。ルターによるドイツ語訳は1534年に出版されています。これは、西洋のキリスト教界にとって大きな分岐点となる年でした。¹¹ 聖文には力があるというルターの信念は、改革の原動力となりました。改革者の中には、教育の普及を進め、聖文を自分で読む機会を万人が得られるようにしようとする人たちもいました。

一部の宗教指導者たちは、聖書が広く読まれるようになると異端が生まれて教会の権威が失墜し、果ては市民の暴動が起こることにもなりかねないと危惧しました。彼らは対抗措置として、当時一般に使われていた言語に聖書を翻訳した者や、一般の言語に翻訳された聖文を所持している者を多数見つけては投獄して拷問にかけました。死刑になった人もいたのです。

1494年ころに生まれたウィリアム・ティンダルが登場したのは、マルチ

ン・ルターが聖書のドイツ語訳に果敢に取り組んでいたころのことです。¹² まだ若かったころからティンダルは、原語であるヘブライ語とギリシャ語を基に訳した改良版の英訳聖書を新たに作るべきだという考えを持っていました。

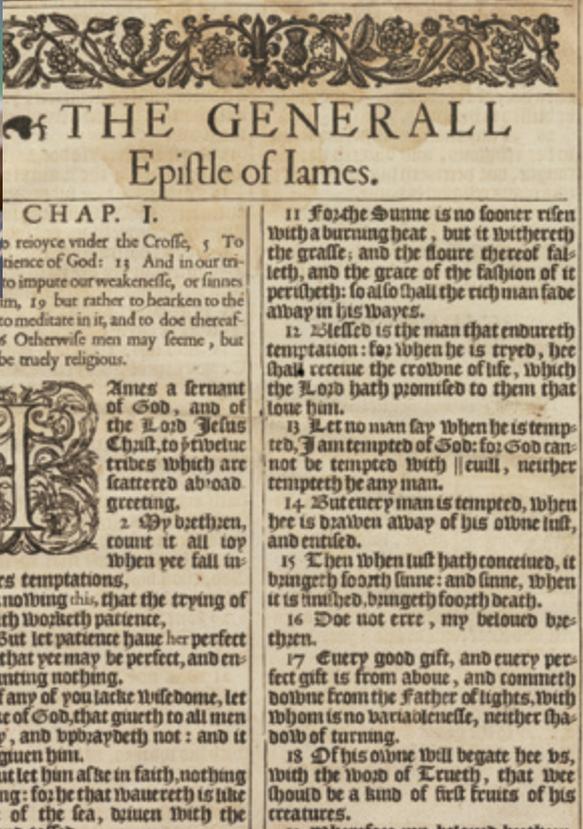
1523年前後に、そのような聖書を作ろうとしてロンドンのカトリックの司祭に支援と助言を願い出しましたが、かたくなに拒否されてしまいます。聖書の翻訳を禁じる法案が1408年にオックスフォードの聖職者会議で可決されていたため、ティンダルが支障なく翻訳を進めるためには、公的な許可が必要でした。

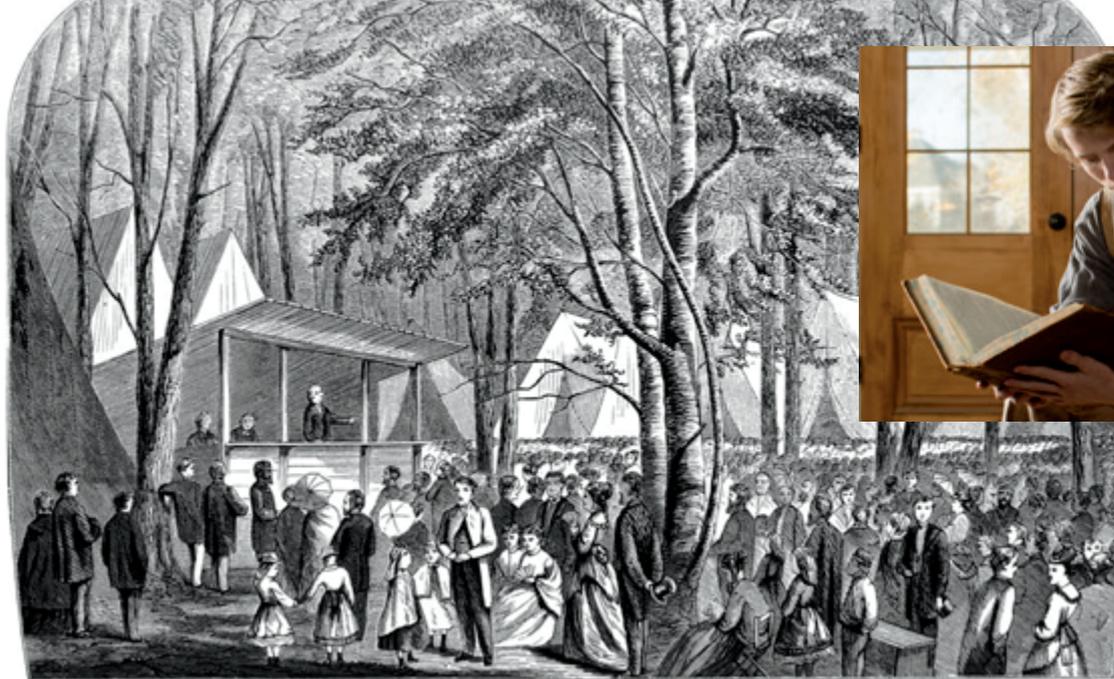
ティンダルは聖書を英訳する作業に没頭し、密かに翻訳を始めて、1525年には新約聖書の翻訳を終えました。ティンダルの翻訳はドイツのケルンで印刷されてイングランドに密輸され、1526年の初めにその地で販売されました。

結局ティンダルは、庶民が自分の言語で聖文



結局、ウィリアム・ティンダルは、庶民が自分の言語で聖文を読めるようになることを願ったほかの多くの男女と同様に、イエス・キリストの大義のために死刑に処せられました。右：欽定訳聖書の原本からの一枚





主は御自分の預言者を起こすに当たって、男女に靈感を与えて技術を発明させ、福音を全世界に伝えることができるようにされました。

を読めるようになることを願って殺されたほかの多くの男女と同様に、1536年10月の初め、柱に縛りつけられたまま絞殺されてしまいます。¹³ それでも、ティンダルの英訳は残りました。ティンダル訳の訳語やフレーズ、段落全体が、欽定訳聖書に取り入れられたのです。¹⁴

1611年出版の欽定訳聖書は英国国教会に公式に認められ、後にイエス・キリストの福音の回復に、幾つかの重要な点で影響を与えています。¹⁵ 欽定訳は、ジョセフ・スミスが生まれた1805年ころ、最も広く読まれていた英語版の聖書です。そのころまでには、ジョセフ・スミス・シニアとルーシー・マック・スミスの一家を含め、多くの家族が日常的にこの聖書を読むようになっていました。実際、多くの人々は家庭で聖書を読むのを聞いたり、自分で聖書を勉強したりして、文字が読めるようになっていったのです。

政治革命と通信革命

印刷と翻訳、識字の各分野における革命は、17世紀から19世紀にかけて欧米全土に広まった政治と科学技術の革命の下地となりました。変わりゆく欧米の政治情勢の中で、人々はさらに自由に自分の宗教を選べるようになっていったのです。信教の自由は、この時期に起こった政治革命が残した数々の成果の一つです。

主はまた、「〔御自分の〕霊をすべての肉なる者に注ぐ」業も始められました(ヨエル2:28;

ジョセフ・スミス—歴史1:41参照)。これには、新たな輸送や通信の技術を思い描いた人々も含まれます。主は回復の業を劇的に推し進めることになるこれらの手段を、彼らに備えさせられたのです。

主は御自分の預言者を起こすに当たって男女に靈感を与え、運河や電報、鉄道、蒸気機関などを発明させて、福音が全世界に伝えられるようにされました。

主はほかにも無数の方法で、御自分の福音の回復に向けて世を備えられました。それは、個人と家族、地域社会、国家、世界に祝福を与えるためでした。

スミス家への導き

主が回復に向けてどのように世を備えられたかを考える際、主の成し遂げられたことの多くが普通の男女の人生の営みの中で行われたことを常に覚えておかなければなりません。普通の男女が、時に非凡なことを成し遂げたのです。

世界中の多くの個人や家族に、回復のメッセージを受け入れる備えができていました。預言者の両親、ジョセフ・スミス・シニアとルーシー・マック・スミスもそうです。二人は深い霊性を備えた人物で、イエス・キリストを愛し、聖書を研究するようにと教える文化の中で育ちました。

長年にわたって、ジョセフとルーシーは経済的な困窮や病気その他の挫折を、アメリカ合衆国北東部片隅のニューイングランドで経験してきました。1816年、インドネシアのタンボラ山の噴火が原因で世界的な気候変動が起こります。そのために作物の収穫ができず、ジョセフとルーシーはニューイングランドを捨てて親族や友人、地元住民に囲まれた安心できる環境を後にするという勇気の要る決断を下しました。こうするほか、選択の余地がほとんどなかったのです。

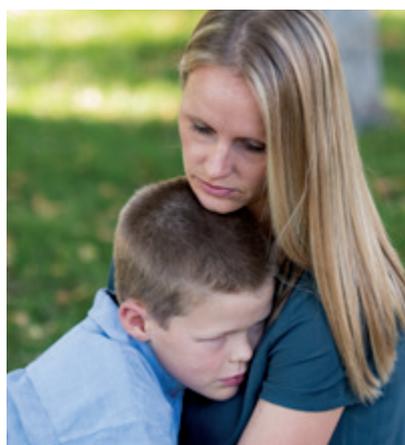
新しい教会歴史物語の第1巻には、こう書かれています。「ジョセフ・シニアは妻と子供たちを心から愛していましたが、それまで、家族に安定した生活を送らせてやることができませんでした。不運や失敗に終わっ

た投資のために、家族は貧しく不安定な状況に置かれていたのです。もしかすると、ニューヨークでは違うかもしれません。』¹⁶

様々な意味で、スミス家はニューイングランドで失敗したためにニューヨーク西部に移らざる

の祝福や個人の日記、個人史を読むと、自分の生活に主の御手がどのように働いていたかが見えてきます。

1831年に与えられた啓示で主は、次の警告を世に与えられました。「また、すべてのこと



主は失敗や挫折を通してわたしたちを強くし、新たな教訓を教え、想像をはるかに超えた未来に向けてわたしたちを備えることができになります。

を得なくなりました。宗教上の論争が過熱していたその地で、ジョセフ・スミス・ジュニアは靈感を受け、赦しと導きを主に求めることになりました。また、そこは金版が隠されている場所でもありました。それをジョセフが後に取り出して翻訳し、出版することになるのです。

自分の生活の中で主の御手を認める

主は、スミス家族の失敗についてなされたように、失敗や挫折を通してわたしたちを強くし、新たな教訓を教え、本人の想像をはるかに超えた未来に向けてわたしたちを備えることも、おできになります。

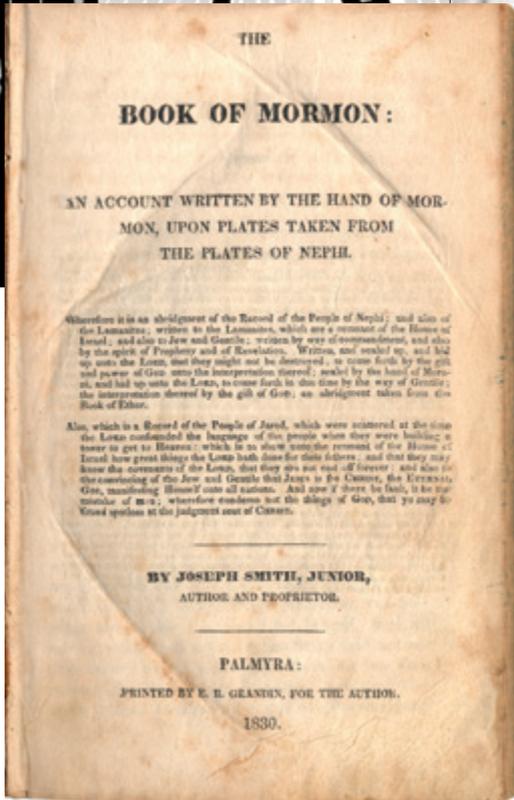
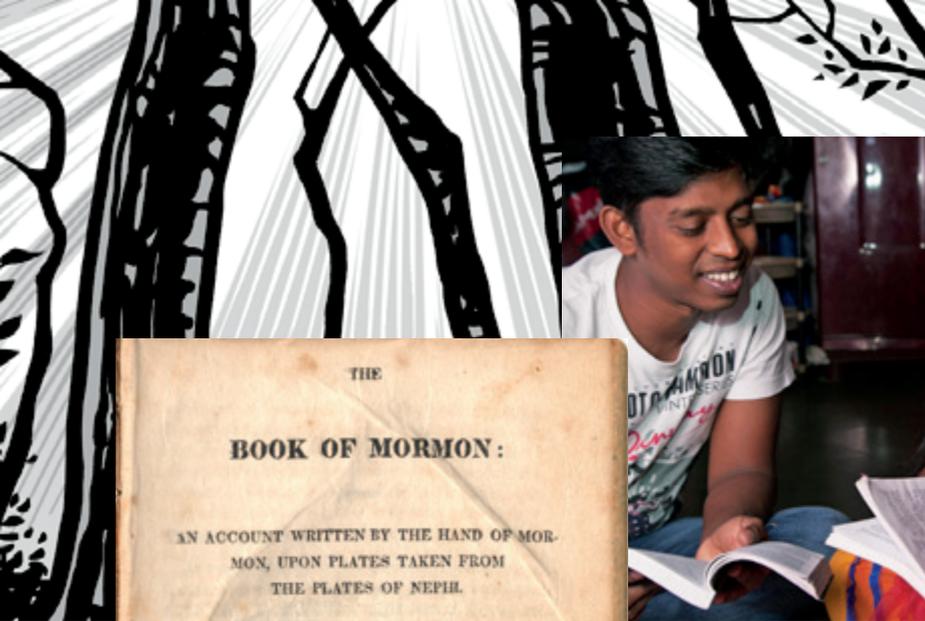
スミス家の人生に主の御手がどう現されたかを考える際には、わたしたち一人一人の生活にも主の御手が現れていることを認める必要があります。自分の生活に主の御手が働いていることを知るためには、霊的な感受性がなければならず、多くの場合、時間と大局的なものの見方が必要になります。幸いなことに、祝福師

の中に神の手を認めない者と、神の戒めに従わない者のほかに、人はどのようなことについても神を怒らせることはない、すなわち、ほかのどのような人に向かっても神の激しい怒りは燃えない。」(教義と聖約 59 : 21)

自分の生活の中に主の御手を探してそれを見だし、主の御手が働いてイエス・キリストの教会の回復に向けて世を備えていることが分かると、主イエス・キリストの戒めに喜んで従いたくなります。特に、神を愛し自分自身のように隣人を愛しなさいといういちばん大切な二つの戒めに従いたくなるのです。これこそ、「驚くべき業と不思議」です(2 ニーフアイ 25 : 17)。

主は、永遠の福音の回復に向けて世を備えられたように、現在、主の再臨にこの世を備えておられます。再び主の御手が、歴史を変える出来事だけでなく、個人の生活の中にも見られるようになることでしょう。

現在わたしたちが聖なる森と呼んでいる場所



主は、永遠の福音の回復に向けて世を備えられたように、現在、主の再臨にこの世を備えておられます。左：1830年版モルモン書のタイトルページ

を証します。¹⁸ また、主の御手がわたしたち一人一人の生活の中であって、主の輝かしい再臨に向けて主が世を備えられる間、主に従い、人々に伝え、主を愛するようへと導いてくれることも、証します。■

注

- 1.ブリガム・ヤング、『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』544で引用；see also Brigham Young, "Remarks," *Deseret News*, Oct. 26, 1859, 266.
2. 輸送や通信、工学および医学の各分野における進歩は、主の福音と教会の回復に向けた主の備えにおける重要な要素である。
3. See L. D. Reynolds and N. G. Wilson, *Scribes and Scholars: A Guide to the Transmission of Greek and Latin Literature*, 4th ed. (2013).
4. 例として、アメリカ独立宣言や英国議会在が制定した法律、ユダヤ教の会堂で用いられるトーラーの巻物、一部の大学の卒業証書などが挙げられる。
5. See Timothy H. Lim and John J. Collins, *The Oxford Handbook of the Dead Sea Scrolls* (2010) and Bruce M. Metzger and Bart D. Ehrman, *The Text of the New Testament: Its Transmission, Corruption, and Restoration*, 4th ed. (2005).
6. Thomas A. Wayment, *The New Testament: A Translation for Latter-day Saints, A Study Bible* (2019), 2.
7. See Diana Childress, *Johannes Gutenberg and the Printing Press* (2008).
8. 例として、M・ラッセル・バラード「聖書という奇跡」『リアホナ』2007年5月号、80-82を参照
9. See Elizabeth L. Eisenstein, *The Printing Press as an Agent of Change* (1980), 703.
10. See James Carleton Paget and Joachim Schaper, eds., *The New Cambridge History of the Bible, Vol. 1, From the Beginnings to 600* (2013); see also vols. 2-4.
11. 4世紀に作成されたこのラテン語訳は、カトリック教会の公式版聖書となった；see Richard Marius, *Martin Luther: The Christian between God and Death* (1999).
12. See David Daniell, *William Tyndale: A Biography* (1994).
13. その後、ティンダルの死体は柱にくくりつけられたまま焼かれた。
14. ウィリアム・ティンダルによる英訳は認められなかったものの、1611年版欽定訳聖書に収められている。
15. See David Norton, *The King James Bible: A Short History from Tyndale to Today* (2011).
16. 『聖徒たち——末日におけるイエス・キリスト教会の物語』第1巻「真理の旗」1815-1846年、5-6参照
17. 「最初の示現の記録」福音のテーマ、topics.ChurchofJesusChrist.org 参照。
18. M・ラッセル・バラード「純粹でシンプルなイエス・キリストのまことの福音」『リアホナ』2019年5月号、29に引用されているジョセフ・F・スミスの言葉参照

に行ったとき、ジョセフ・スミスが求めたのは赦しと、生活の中での導きでした。¹⁷ ある意味で、ジョセフはマタイによる福音書に記録されている、主の靈感あふれる勧めに従っていたのです。

「すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。

わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう。

わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからである。」(マタイ 11: 28 - 30)

神のすべての子供たちのためにあるイエス・キリストの「純粹でシンプルなまことの福音」、 「キリストの救いの教義」の回復に向けて、主の御手は時の初めから世を備えておられたこと



子供と青少年 —— 力強い スタートを切る

親やワードがどのように「子供と青少年」を実践できるか、その方法を教会の指導者が紹介します。

教 会の新たな取り組みである「子供と青少年」について、大いに楽しみにしているか、多少不安を感じているかにかかわらず、皆さんは恐らく次のような疑問をお持ちのことでしょう。「これはわたくしの子供にとって、どのような助けになるだろうか。」「どうやればよいのだろうか。」「わたしの役割は何だろうか。」

教会の指導者がその幾つかにお答えします。

教会はなぜこうした変更を行おうとしているのでしょうか

ボニー・H・コードン姉妹: ラッセル・M・ネルソン大管長が教えているように、わたしたちは皆、啓示を受ける能力を伸ばす必要があります。¹ 「子供と青少年」が設けられたのは、聖約の道を進み、喜びを見いだす方法について、御霊の導きを求めるよう、個人と家族を促すためです。これは、預言者がわたしたち一人一人に対して思い描いていることと見事に一致しています。

スティーブン・W・オーウェン兄弟: ネルソン大管長はまた、この教会は家庭を中心とした教会であると教えています。各家庭がどのような状況にあらうと、それは変わりません。² プログラム中心の教会ではないのです。教会指導者や教師は、子供が教義を学び、それに従って生活できるよう助けることはできますが、こうした責任は家庭で始まり、日々行うべき務めなのです。

預言者が教えてきたように、わたしたちは啓示を求め、御霊に従う必要があります。「子供と青少年」はその助けとなります。これは、簡略化による



中央若い女性会長
ボニー・H・コードン



中央若い男性会長
スティーブン・W・オーウェン



中央初等協会会長
ジョイ・D・ジョーンズ

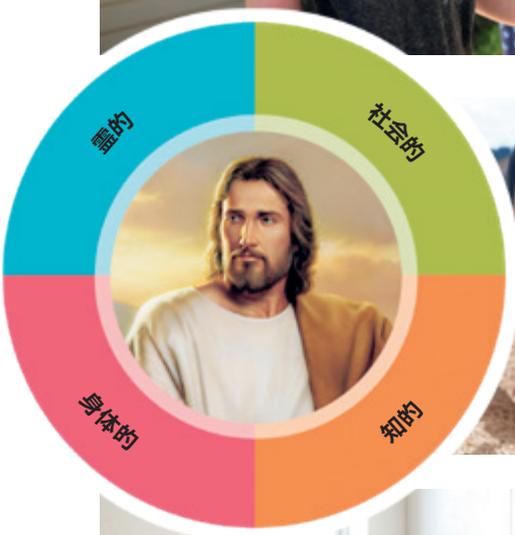
ところもあるでしょう。これまでは子供たちが10代という時期を過ごして行く中で、「成長するわたし」や「神への務め」、「神への信仰」などの教会のプログラムのために、親が進み具合を確認し、把握しておくべき必要条件が何百項目とありました。しかし、この新たな取り組みは、自らの必要と関心に応じて目標を設定する際、青少年や子供が自分で靈感を求めることを勧めています。

ジョイ・D・ジョーンズ姉妹：これは、教会の次世代の子供と青少年にとって、イエス・キリストを信じる信仰を深める胸躍る機会となります。聖霊の導きを求め、その導きに応じられるようになると、自らの永遠の独自性と目的について、またどうすれば進歩成長し、自分に対する天の御父の愛を感じられるようになるかを、さらによく理解できるようになるのです。「子供と青少年」に焦点を当てることで、若人とその家族は、家庭や教会での互いの関係、また天の御父との関係を確立し育むうえで祝福を受け、強められることでしよう。

「子供と青少年」を始める最初のステップとして家族は何をすればよいでしょうか

ジョーンズ姉妹：御霊の導きを求めてともに祈ってください。まず親は、「子供と青少年」にある福音学習、奉仕と活動、個人の成長という3つの分野について、家族で話し合うことから始めるとよいでしょう。現時点では、どのようなことをしていますか。個人、また家族として、この3つの分野でどのように成長できますか。救い主を覚え、救い主に従うための計画や目標を立てるうえで、ルカ第2章52節に着目することはどのような助けになるでしょう。このような非常にシンプルで一貫性のある、有意義な方法で、若人や家庭、家族を強めることは何とすばらしい機会でしょう。

コードン姉妹：一度に少しずつ始めましょう。聖約の道を歩むというのは、実のところ、片方の足をもう片方の足の前に踏み出すことにすぎません。目標を一つ立て、シンプルに始めてください。青少年と子供のためのガイドブックには、従うべきすばらしい規範が載っています。



オーウェン兄弟：複雑にしすぎないようにしましょう。とてもシンプルなものだからです。まず、ルカ第2章52節を読むことから始めてください。それから親は、そのことについて家で子供や青少年とじっくりと話し合うとよいでしょう。「君にますます知恵が加わり、背たけも伸びて、神と人からもっと愛されるために、どのように力になれる?」「一緒にどんなことを学んだり、行ったりできるかな?」「あなたはどんな目標を立てられる?」ひたすらシンプルにしてください。

この取り組みを始めるに当たって、子供と青少年に知ってほしいことが一つあるとしたら、それは何ですか

コードン姉妹：これは、救い主が成長されたのと同じ方法で成長する素晴らしい機会です。「何に焦点を合わせるべきだろう」と思うなら、主に似た者となるためにすでに多くを行っているということのを思い起こすよいでしょう。現在、多くの家庭や教会で福音学習が行われています。わたしたちは奉仕をしており、数々の活動に携わっています。この新たな取り組みは、今学んでいることに基づいて行動するうえで、明確な意図と責任を持つための手段にすぎないのです。また、救い主が成長された4つの分野、すなわち霊的、社会的、身体的、知的面での成長に焦点を合わせる手段でもあります(ルカ2:52参照)。この取り組みによって、救い主に倣うときに、わたしたち皆に喜びや平安、永続する幸福がもたらされます。

ジョーンズ姉妹：進展していることは、救い主に焦点を当て、家族が主体となり、教会がサポートする点です。従来のプログラムから離れるに当たっての簡素化であり、個別化なのです。成長は一人一人にもたらされます。この取り組みは、世界中の天の御父の子供たちがともに成長し、聖約の道において永続する喜びを味わうために達成し取り入れることのできる手段です。このことを、子供や青少年、指導者、またその家族に知ってほしいと思います。大きな変化にはならないでしょうし、分かりにくい学習曲線〔訳注——学習量と上達具合の関係を表す曲線〕を描くこともないでしょう。御霊の導きに従って、すでに行っていることをさらに行うだけなのです。それにより、誠実に努力することで、愛をもって効果的に救い主に従う能力が増し加えられることでしょう。

青少年と子供にとって、救い主のように成長することはなぜ大切なのでしょう

ジョーンズ姉妹：何よりもまず重要なのは、常に主に従うという聖約を青少年や子供がすでに交わしているということです。「いつでも、どのようなことについても、どのような所においても、……神の証人になる」と聖約しているのです(モーサヤ18:9)。ですから、主が成長されたのと同様に、霊的、社会的、身体的、知的に成長する必要があります。彼らが交わした聖約は、そうすべき理由であるだけでなく、各自の目標を達成するうえで助けとなる能力を与えてくれるものでもあります。

オーウェン兄弟：天の御父とその御子イエス・キリストに従い、御二方のようになることが、人生におけるわたしたちの目的そのものであり、わたしたちは御二方のようになりたいと思っています。若いうちからこれを

実践し始めることで、残りの人生に向けた規範を得ることができます。また、主がなさったことを行うとき、わたしたちは実際に救い主に従っているのです。

コードン姉妹：救い主はすべてにおいてわたしたちの模範です。わたしたちが主の生涯と使命と教えを学ぶのは、主こそが、すべてにわたって自分もそうなりたいと、わたしたちが切望する御方だからです。しかしわたしたち一人一人は独自の存在であるため、主に似た者となるうえで伸ばす必要のある特質や技能がそれぞれにあります。この新たな取り組みは、子供や青少年一人一人に合った方法で成長する機会を与え、各々の賜物を伸ばし、救い主にさらに似た者となるために自分がすべきだと感じる事柄を見つけられるようにします。これが、この取り組みを非常に個人的なものにするのです。決められたチェックリストはありません。聖約の道を進むうえで各自が掲げる目標はそれぞれ異なったものになるでしょう。それでも、わたしたちはともに学び、ともに成長し、ともに救い主にさらに近づくことができるのです。

プログラムに取り組む子供と青少年にどのように感じてほしいと思いますか

コードン姉妹：自らの永遠の属性について理解を深め、帰属意識を持ってほしいと願っています。自分が何者であり、どなたと聖約を交わす者であるかを理解するとき、わたしたちの行動は変わります。一部のソーシャルメディアから発信される事柄が真実ではないことを認識できるようになります。御霊がどのように語りかけてくださるかを自ら経験するからです。そして自分自身と、神の娘、息子としての自らの神聖な可能性に対する自信を得ることでしょう。

ジョーンズ姉妹：イエス・キリストに対する信仰や希望を味わってもらいたいと思います。戒めを守ることによって平安を感じ、健全な人間関係を経験し、困難に対処する能力を身につけ、人々に奉仕する喜び、また救いの業に携わることによって得られる幸福感と充実感を得てほしいのです。

オーウェン兄弟：頭で理解するだけでなく、心で感じるような形で福音を理解してもらいたいと思っています。これは、何かをこなしてチェックマークを付けることではなく、学びの、また救い主のようになるためのプロセスなのです。わたしが真に望むのは、子供たちや自分の仕える人たちが、人に教えられるほど十分に福音を理解しているという自信を持つようになることです。例えば、子供たちがすでに福音の原則を学んでおり、それが子供たちの一部になっているために、子供たちに福音について質問すると、非常に深い答えが返ってくるようになればと願っています。

親は家庭で「子供と青少年」がうまくいっているか、どのように分かりますか

オーウェン兄弟：わたしであれば、ガラテヤ5章で述べられている御霊の実が見られるか、例えば家庭にさらなる平安があるかどうかを見るでしょうね。子供は前よりもっと親切に、愛情深くなると思います。家族と一緒に過ごしたがるようになるでしょう。また、さらによく祈り、答えを見いだそうとするでしょう。霊的な面だけでなく、社会的、身体的、知的な面でも改善が見られるようになるでしょう。

ジョーンズ姉妹：家族関係が強まり、各自が実際に進歩を遂げ、困難な中にあっても努力し続けるとき、うまくいっていることが分かるでしょう。支え合い、思いやりを示し合う姿が見られるときや、聖霊の影響力を積極的に求めるようになり、実際にその影響力が家庭にあるときもそうでしょう。日々行っていることとキリストの生涯との間に、より明確なつながりを見いだせるようになるかもしれません。選択の自由や悔い改めに対する理解と感謝が深まり、態度が改善し、自信が増し、自分の内側にこもる代わりに、外に目を向けて手を差し伸べようと努めるようになるでしょう。また、救い主とその生涯、その教えや模範、贖罪、復活に対する感謝の念が増すでしょう。

従来教会のプログラムを終えることに多少不安を抱いているであろう親に向けて、何か助言がありますか

コードン姉妹：言うまでもありませんが、わたしたちは従来プログラムを大いに気に入っていました。こうしたプログラムの中で、一人一人が成長を遂げ、ほかの人たちも成長する姿を目にする機会があったからです。そうした時代のために靈感を受けたプログラムでした。けれども、わたしたちは絶えざる啓示に感謝しているのではないのでしょうか。主はわたしたちが進歩し、変化し続けることを求めておられます。ですから、世界中の会員の必要を満たすために教会のプログラムを進化させ、変更することを求めておられるのです。わたしたちは常に改善に努め、あるべき姿として天の御父が御存じであり、また必要としておられる教会や民となるよう努めています。

ジョーンズ姉妹：わたしたちは従来プログラムによって大いに祝福されてきましたし、これまで学んできたことや経験してきたことに感謝することができます。今はすばらしい新たな時節であり、靈感を受けた新たな方法で学び成長するために、主の導きを求める機会でもあります。

子供や青少年が個人の成長を遂げる過程で、指導者はどのように助けられるでしょうか

オーウェン兄弟：何よりもまず成人指導者は、子供や若い男性、若い女性を神が御覧になるように見る必要があると思います。つまり、現在の姿だけでなく、将来なり得る姿をも見るのです。到達地点を思い描くことから始めましょう。長期的な観点を持ってください。これには時間がかかるからです。子供や青少年がどのような人物になり得るのかを見るようにしてください。青少年と話す必要のあるときに敬意をもって耳を傾けてもらえるような関係を築いてください。

また親とも知り合いになり、どのように助けられるか、その方法を彼らを通して見いだしてください。親としての彼らの役割を尊重しましょう。

ジョーンズ姉妹：初等協会には、若い男性や若い女性にある、定員会やクラス会長会といった組織は存在しません。初等協会の指導者や教師は、ミニスターングブラザーやミニスターングシスターと同様に、家庭で福音のサポートを受けていない子供を支援します。しかしながら、家庭の状況がどうであれ、子供や青少年と親との関係を常に尊重することが大切です。「子供と青少年」は、来て見るように、また来て助けるように、家族全員を招く機会を提供します。末日聖徒イエス・キリスト教会の会員であるかどうかにかかわらず、家族全員を強める手段となり得るのです。

コードン姉妹：日曜日に教会に出席していなくても愛情深い、そういう親を持つ子供や青少年は大勢います。親と知り合いになって、子供に対してどのような夢や希望を抱いているかを知るよう、指導者の皆さんにお勧めします。わたしたちは力になることができます。親と歩調を合わせて働くとき、個人とその家庭を強めると同時に、互いの家庭を強めるよう子供や青少年を励ますことにもなるのです。



「子供と青少年」をうまくやれるよう子供を助けられないのではないかと不安に思っている親に向けて、何か助言はありますか

コードン姉妹：素晴らしいことに、わたしたちは子供を助けるために大半のことをすでに行っています。すでに家族は福音をともに学んでいますし、わたしたちも様々な奉仕や活動を行っています。個人の成長に向けた取り組みも、これまで常に存在してきました。今はただ、キリストがどう成長されたかに焦点を当てているにすぎないのです。

子供と膝を交えてじっくり話し合うとき、その時間を心から楽しめると思います。普段どおりにさりげなく、子供の心の内に耳を傾けるだけでよいのです。天の御父は、皆さんの子供が成長し、喜びを見いだして、御父のみもとに戻ってともに住むことを望んでおられます。生活のあらゆる面で福音を取り入れ、救い主イエス・キリストを招き入れるようともに努め励むなら、聖霊の導きを感じることでしょう。

ジョーンズ姉妹：家族に合った方法で始めてください。天の助けが得られると信頼し、御霊の導きを求めてください。「子供と青少年」は、有益な子育てツールとなるでしょう。現代の親は、家族を導き、養い育てるうえで多くを求められます。時折、負担が大きすぎると感じるのも無理からぬことです。「子供と青少年」は、親が大切なことの中から欠かせないことをえり分ける助けになります。聖霊の導きを通して、救い主に従う方法を学べるよう家族を助けることは、わたしたち皆にとってきわめて重要であり、主の愛と祝福をもたらします。

オーウェン兄弟：皆さんは実際に子供や青少年を助けられるようになるわたしは思っています。何か大きなことをする必要はありません。要するに、忠実であってよく祈り、家族で神聖な習慣と義にかなった日課を作ることに尽きるのです。基本的で簡単な、義にかなった習慣から始めてください。そうすれば、子供の生活に奇跡が起こるのを目の当たりにするでしょう。■

注

1. ラッセル・M・ネルソン「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」『リアホナ』2018年5月号、93-96参照
2. ラッセル・M・ネルソン「開会のあいさつ」『リアホナ』2018年11月号、6-8参照

役立つリソース

『リアホナ』から：

- ・ ウェンディー・ウルリッヒ「若い世代を鼓舞する」『リアホナ』2020年1月号、26
- ・ ヘザー・バージソンとアマンダ・ダン「子供と青少年——日常生活における強調点」『リアホナ』2020年1月号、52
- ・ ジョイ・D・ジョーンズ「毎日少しずつ良くなる」『フレンド』2020年1月号、F8
- ・ プリタニー・ビーティー「子供と青少年にミニスタリングをする」『リアホナ』2019年12月号、36

インターネット：childrenandyouthChurchofJesusChrist.org





若い世代を 鼓舞する

子供たちが有意義な目標を立てて達成し、
救い主のように成長できるように助ける
4つの方法を紹介します。

わたしたちは親として、指導者として、子供や青少年が生涯を通じてイエス・キリストの弟子となれるよう助けたいと思っています。主に仕え、与えられた個人的な使命を果たそうという意欲を自分から抱いてほしいのです。

「子供と青少年」は簡単なながらも効果のあるリソースを載せていて、子供や青少年が霊的、社会的、身体的、知的な面で救い主のように成長するために役立ちます(ルカ2:52参照)。このような成長を遂げるのは、イエス・キリストの福音を学んでそれに従い、有意義で楽しい奉仕や活動に参加し、自分の目標を立てて達成するときです。しかし、これから紹介する親たちのように、わたしたちはほかの人の目標を自分のリストに加えるまでもなく、すでに重い負担を感じているのかもしれませんが、または、自分の子供は追い込まれないと成長しないのではと、心配しているのかもしれませんが。

目標設定の会話例1

アラーナ(15歳)は母親のレイチェルと一緒に腰かけ、アラーナにできそうな目標のリストに目を通しています。このリストは二人で作りました。そこに、アラーナの父親ジェフが通りかかります。「わたしにはどれがいいかしら、父さん。」アラーナが問いかけます。

ジェフは腕時計を見て少し顔をしかめると、リストをちらりと見ました。「ふむ、これが簡単そうだね。『賛美歌を覚える』はどう？ それならすぐにできて印が付けられるよ。ほかに簡単そうなのはないかな。」

そこにレイチェルが口を挟みます。学校の陸上競技チームに入るための試走会にアラーナが出たがらなかったことを思い出したからです。そうして、こう提案します。「それより、もっと難しいことに挑戦する必要があると思うわ。運動関係はどう？」

「もういや」とつぶやくと、アラーナは携帯電話に手を伸ばしました。「終わりにするわ。」

親と指導者にできること

子供や青少年が自ら進んで良い価値観を選び、良い選択をし、成長と達成感の両方を味わえるよう助けるうえで、親と指導者にできることはたくさんあります。

自分がものすごくやる気になって目標達成のために努力したときのことを思い出してください。何が原動力になってい

ましたか。心底やりたいことができるチャンスや身につけたスキルを見つけたのかもしれませんが、解決すべき問題があったのかもしれませんが。ほかの人の模範や助けのおかげで、やる気になったのかもしれませんが。

同じように、子供や青少年も次のような状態があれば、おのずとやる気が出てくるでしょう。(1)よく祈ってやりたいことを決めたとき(単にほかの人から期待されていることではない)、(2)それを達成するための計画を立てたとき、(3)賞罰の影響を過度に受けていないとき、(4)自分には親と指導者がついていてという安心感があるときです。

1. 自分のいちばんやりたいことが見つかるよう青少年を助ける

だれにでもやりたいことはあります。チームに入りたい、もっと睡眠時間を確保したい、寂しさを紛らわしたい、神に近づきたいなどといったことです。主や御使いは、「何を望んでいるのか」と人に問いかけることがよくあります(マルコ11:24;1ニコライ11:1-2;アルマ18:15;3ニコライ27:1-2;エテル2:23-25参照)。しかし、今したいだけでなくいちばんやりたいことが分かるようになるためには、経験を積み、自分をよく見詰めなければなりません。

助けようとする子供や青少年のことを考えるうえで、以下を自問してください。

- どうすれば新しい取り組みや価値観、アイデアを、良い関係を作りながら楽しく紹介できるだろうか。
- 良いものを選べるようになってもらうために、選択を誤った場合にどうなるかを本人に経験させるべきだろうか。
- 彼らが何を信じ、何を大切にしているかを、どんなときに尋ねればよいだろうか(掲載の「やりたいことが見つかる質問リスト」を参照)。
- 彼らの強みをどのように伝えればよいだろうか。(伝え方の例:「君は_____がほんとうにうまいと思うよ。その才能を生かして主に奉仕したらどうかな。」)

2. 計画を立てられるよう青少年を助ける

青少年はいざ目標を設定すると、非常にうまく計画を立てられることが多いようです。年少の子供には、もっとアイデアが必要かもしれません。アドバイスするのは、彼らが行き詰まったときだけにしましょう。あなたの提案したアイデアよ



りも自分で考えたアイデアの方がいいと彼らが言ったら、身構えずに喜んでください。

計画を立てるのを手伝う際には、以下のような質問をする
とよいでしょう。

- あなたの目標は何ですか。「もっと優しい人になる」といった漠然とした目標は、「毎日だれかを褒める」「怒ってしまったら謝る」などの具体的な行動を入れないと、定義することが難しい。）
- その目標があなたにとって重要なのはなぜですか。（自分の価値観に従って生きるためや、さらに救い主に似た者になるために、その目標はどう役立つだろうか。）
- 今は、その目標に取り組むのに良い時期でしょうか。（良い時期なのはなぜか。または、良い時期でないのはなぜか。）
- 取り掛かるきっかけになる小さくて簡単な行動にはどんなものがありますか。（行動を起こすとやる気が出ることを思い出してもらおう。小さくて簡単なきっかけを作って彼らが目標に取り掛かれるよう、または再度取り掛かれるように助ける。）
- 計画を実行するときにはどんな工夫ができるでしょうか。（リマインダーを設定する、励みになるような言葉を貼る、グラフやスケジュール表を作って進捗状況を記録する、誘惑となるものを取り除く、適切なツールを入手する、助けを求めるなど。）
- どんなものが障害となるでしょうか。それにどう対処できますか。（計画を覚えていられるよう助ける、うまくいかない点に興味を持ってもらう、難しい部分をもっと練習してもらう、新しい方法を試してもらう、目標に調整を加えてもらうなどして助ける。）

挫折を乗り越えられるようにするために、試練に遭った人の話やへこたれずがんばることについて自分や家族の経験話を話すとよいでしょう。以下の質問もしてみます。

- どんなことを実行してみましたか。ほかに何か試せることはあるでしょうか。
- 助けてくれる人はいますか。わたしにできることがあるでしょうか。
- これについて祈って、どのようなアイデアが心に浮かびましたか。

3. 賞罰については慎重になる

ささやかな褒美があると、新しいことをする励みになり、つらい作業が楽しいものになります。それに、達成のお祝いにもなります。しかし、度が過ぎると、褒美が実はやる気をそぐことになりかねません。すでに課題に喜んで取り組んでいる人は、報酬があることが分かると、報酬のためだけにやる価値はないと考え、やる気が出るどころかしぼんでしまうことが多いのです。それに、子供は、選択を誤った場合にどうなるかを体験する必要はありますが、自分に罰を与える人に対しては、恐れを抱いたり避けたりするようになってしまいます。良い判断基準を育むことにはならないのです。

もちろん、人は職場で賃金を期待しながら働きますし、ボーナスや表彰は励みになりますが、福音に従った生活や個人の

目標の達成については、内面的な報酬こそが、長い目で見てもいちばんの原動力になります。内面的な報酬には、以下のようなものがあります。

- 御霊を感じる。
- 親や指導者、友達との結びつきが強くなったと感じる。
- 自分の価値観に沿った生活ができるようになる。
- 学び、新しいことに挑戦し、問題を解決する。
- 楽しい。
- 良い影響がある。

若い人たちがこれらの内面的な報酬に気づき、それを大切にしよう導いてください。時にはささやかな褒美をあげて、成果を祝いましょう。

4. 青少年にあなたの愛を感じてもらおう

愛のある人間関係は、人の価値観や目標、やる気に最も大きな影響を与えるものの一つです。あなたは自分が心から愛され、大切にされていることを、どのような形で伝えられましたか。自分の失敗や悩みについて正直に話しても大丈夫な人を、どんな基準で判断していますか。家庭であまり愛を感じなかった人は、自分にはなかったもので自分に必要だったと思うものは何ですか。

以上の質問の答えは、若い人たちは大切な存在で、あなたがついていけば大丈夫だということを若い人たちに伝える方法を知るのに役立つでしょう。

実践と天の助けによって、わたしたちは若い世代のやる気を引き出し、彼らに影響を与えることができるようになります。



目標設定の会話例 2

アラーナ(15歳)は母親のレイチェルと一緒に腰かけ、アラーナが取り組めるような目標のリストに目を通しています。そこに、アラーナの父親ジェフが通りかかります。「わたしにはどれがいいかしら、父さん。」アラーナが問いかけます。

ジェフは腕時計を見て少し顔をしかめると、リストをちらりと見ました。「ふむ、これが簡単そうだね。『賛美歌を覚える』はどう？ それならすぐにできて印が付けられるよ。ほかに簡単そうなのはないかな。」

ジェフは一息つきました。何か違うと感じたため、それが何なのか、時間を取って考えることにしたのです。

遅刻する、と思いました。これだけは済ませたいな。わたしはこういう子育て関係のことは苦手なんだが。うーむ。娘を見ると、自分にはほかの感情もあることに気づきました。希望と喜びです。これは完了の印を入れて終わりというのではなく、娘の成長にかかわることなのです。しかも、娘と交流するチャンスです。笑みがこぼれてきました。

「ちょっと待てよ、こうしたらどうだろう」と切り出しました。「最近、やってみた方がいいと感じていることを各自書き出すんだ」と言ったのです。

「そうね、いいわよ」とアラーナは言います。レイチェルが紙と鉛筆を持ってくると、皆で数分考えて、書き出しました。

「できたわ」とレイチェルは言います。「で、どうするの?」

アラーナは思い出しました。「これについて祈って目標を選んで、計画を立てるのね。でもお父さんは、天のお父様は

わたしがどの目標を選ぶかに関心をお持ちだとほんとうに思っているの?」

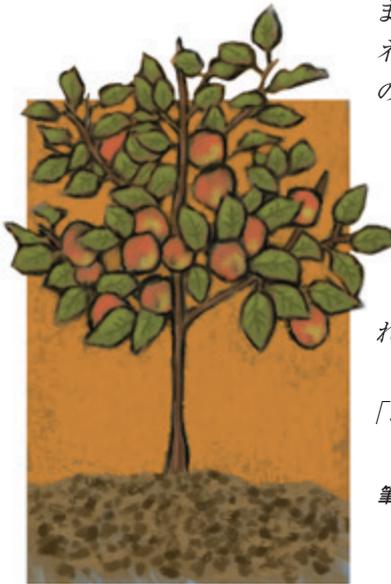
ジェフは少し考えて、こう言いました。「いいアイデアがこんなにたくさんあるんだから、たぶん天のお父様は君に、まずは一つ選んでそこから始めるよう望んでおられるんじゃないかな。でも、一つだけ確かなことがある。天のお父様はほんとうに君のことを心にかけておられるよ。」

「お母さんには分かるわ。アラーナは自分の賜物を使って成長したいと思っているのよね」とレイチェルが付け加えます。「だから、この中で特に重要なものがあるなら、きっと天のお父様はそれが分かるようにしてくださるわよ。」

アラーナは笑顔になると、こんなことを思い出したと言います。「自分の生活を全部見直しなさいって、ネルソン大管長が青少年に言っていたの。そのときに書いたものを持ってきてもいい?」

「もちろんさ!」ジェフはにっこりと笑って言い、また時計を見ました。「おっと。もう行かないと。書いたものを見つけておいでね。夕食のときに話そう。いいかな? 幾つか質問があるんだ。役に立つかもしれないよ。」

「すごいわ!」アラーナは笑顔で言いました。「お父さん、お母さん、ありがとう。」■



筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。

やりたいことが見つかる質問リスト

子供や青少年がいちばんやりたいことを見つけられるように、以下の質問の幾つかについて彼らと話し合ってみてください。

どんな人に憧れますか。それはなぜですか。

人からどのように接してもらいたいと思いますか。人にどのように接したいと思いますか。

聖文や預言者の教え、祝福文にある約束の中で、自分の将来にとって大切だと感じるのはどんな約束ですか。

生活の中である程度好きなのはどんなことですか。

どんなときに幸せと生きがいを感じますか。何をしているときでしょうか。

失敗を恐れないとしたら、人生でどんなことをしたいと思いますか。

最近、どんな問題に悩まされていますか。

主はあなたに何を望み、何を求めておられると思いますか。

今年、どんなことに挑戦し、どんなことを学びたいと思っていますか。

それはなぜですか。

今週の目標は何ですか。その目標が主にとって大切なのはなぜでしょうか。

話していると、あなたは_____をやりたいと言っています。

そうですか? ほかに何かやりたいことはありますか。

証の貯蔵庫

中学3年生の年に両親が離婚しました。何年もの間、父が聖餐を取っていない様子を見ていました。父が戒めを守ることに苦しんでいるのは知っていましたが、その問題の大きさや深刻さを理解していませんでした。父が破門されたことを両親から伝えられたときに初めて、姉とわたしは事の次第を知ったのです。

「父さんなんか大嫌い!」泣きながら何度も何度もそう叫びました。わたしは激怒していました。「どうしたらこんなひどいことを家族にできるんだろう。」そう考えました。なぜこんなに長い間わたしたちにうそをつき続けていられたんだろう。

初めに感じた驚きと怒りは長くは続きませんでした。2週間のうちに、その怒りは無感覚へと変わっていきました。

初めのうちはその無感覚こそが、わたしの感じていた怒りと心痛からの解放でした。しかし、やがてその解放は絶望へと姿を変えていきました。自分の周りで人生が崩れ落ちていくのを感じました。これまで以上に天とのつながりを感じる必要がありました。神の愛、導き、平安、癒しを感じる必要がありました。

やがて総大会の時期が来ました。ある部会で、神の慰めを感じるために耳を傾け、待ちました。しかし何も感じませんでした。暗い礼拝堂の中で思いました。聖霊を感じられないけど、確かに聖霊がここにおられることは分かっている。必ずここにおられるはずだ。そのように考え始めると、これまで得てきた数々の小さな証を思い出しました。聖典が真実であること、ジョセフ・スミスが預言者であり、天の御父がわたしたち家族をこれまで祝福されてきたこと、戒めを守ることで平安もたらされてきたことなどです。それはまるで自分の中に証の貯蔵庫があるようでした。



あの瞬間に御霊を感じられなかったこと、それはほんとうはどうでもよかったのです。わたしにはすでに静かで揺るぎない証の貯蔵庫があったのです。

過去に得られた霊的な証を振り返れば振り返るほど、たとえ、この上なく御霊を感じたいと願っているにもかかわらず、聖霊の影響力をその瞬間に感じられなくても、それはどうでもよいことだと気づくようになりました。わたしにはすでに福音が真実であるという静かで揺るぎない証の貯蔵庫があったからです。

その知識はわたしを支え、たとえすぐには何も解決しなくても、戒めを守り続けたいという望みを抱かせてくれました。徐々に、普段の生活の中で天の御父と救い主の愛をより多く感じるようになりました。御二方に近く生活しようと努めるうちに、常には御二方を身近に感じられないときがあったとしても、紛れもない平安と主の福音に対するより強い証にたどり着くことができました。このような努力は、今でもわたしが不安や悲しみに直面するとき、良い影響をもたらしてくれます。天の御父と救い主を信頼し、御二方がわたしとわたしたち一人一人を癒し、高揚させ、強めてくださることを知っています。■

匿名(アメリカ合衆国, ユタ州)

彼は理解しているのだろうか

2005年、わたしは未熟児の三つ子を産みました。ミレーナ、マテオ、ネルソンです。ミレーナは健康でしたが、ほかの二人の小さな男の子たちは様々な合併症に苦しんでいました。マテオはそれらの合併症により生後3か月で亡くなりました。

マテオが亡くなった1か月後に、ネルソンは脳性まひと難聴と診断されました。わたしたちは途方に暮れました。医者はわたしたちに彼は決して歩けないだろうと告げました。そのとき、イエス・キリストの福音を知っていることに感謝しました。福音のおかげで、なぜわたしたちが人生で逆境に遭うのか理解する手助けとなったからです。

信仰と努力を通して、ネルソンは歩くことと手話で会話することを学びました。医者が予測していたよりはるかに多くのことを成し遂げました。彼は家族と福音の中で幸せに育ちました。

わたしたちは彼に限界があることも分かっていましたが、ネルソンのために幾つかの目標を設定しました。それは彼がバプテスマを受ける前にバプテスマの意味を理解すること、また

12歳でアロン神権を受けること、そして神殿へ行き死者のためのバプテスマを受けることでした。

2017年、ネルソンは12歳になりました。わたしたちは、彼が死者のためのバプテスマを受けられるよう準備するのを助けました。ネルソンにとって、バプテスマを受けずに亡くなった人々がわたしたちの助けを必要としているのを理解するのは難しいことでした。ネルソンの誕生日の後すぐに、彼とミレーナ、年上のきょうだいフランコとブレンダ、同じワードのほかの青少年たちは、アルゼンチン・コルドバ神殿へ行きました。神殿会長はわたしたちを出迎えてくれ、身代わりのバプテスマの重要性について話してくれました。わたしはネルソンと一緒に座り、彼のために手話をしました。程なくして、彼の番となりました。彼がバプテスマフォントに足を踏み入れたとき、わたしたちは思

いました。彼はほんとうに理解しているのだろうか。

ネルソンは水に

入ると、感動したようでした。その瞬間、聖霊がわたしたちに次のことを示してくださいました。すなわち、ネルソンは亡くなった先祖が自分ではできないことを身代わりに行っていると理解していたということです。彼は幕の向こうにいる自分の先祖が喜んでいること、また自分が彼らを助けていることをきちんと理解していると分かりました。御霊はさらにマテオがそこにいて、彼のきょうだいとともに同席していたことも明らかにしてくれました。ネルソンは水から上がったとき、とても幸せそうでした。

そのときからネルソンは、2016年に亡くなったわたしの父を含め、たくさんの家族の身代わりとしてバプテスマと確認の儀式をしました。わたしたちは、神殿が大好きです。神殿での奉仕は家族の伝統の一つとなりました。神殿に行く度に、あの特別な日を思い

出します。■

ミリアム・ロサーナ・ガリアーノ（アルゼンチン、コルドバ）

神殿での奉仕は家族の伝統の一つとなりました。神殿に行く度に、ネルソンの特別な日を思い出します。



「万事を御存じである御方の知恵によって」

専任宣教師として宣教師訓練センターに入所したわたしは自分には学ぶべきことが、まだたくさんあることが分かりました。最善を尽くして勉強し、証を強め、自分の中にすでにある土台の上にそれらを積み重ねていきました。祈り、天の御父に質問し、そして答えを調べました。この経験はわたしの生活を変えました。

ある日、ペルーで伝道していたときのことです。同僚の長老が1通の手紙を受け取りました。そこには彼の親友の父親が、突然、亡くなったことが記されていました。同僚の目に涙があふれてきました。「天のお父様は、なぜこのようなことが起きるままにされるのだろうか。」彼はそう声を上げました。

その疑問はわたしの心を捕らえました。その晩、わたしはひざまずき、天の御父に同じ質問をしました。こうしてモルモン書を調べていると、わたしの目は、ニューファイ第二書第2章24節

の聖句に留まりました。「しかし見よ、すべての物事は、万事を御存じである御方の知恵によって行われてきた。」

その聖句が心にあって、なくなりませんでした。同僚にカードを贈り、わたしの証の一部として、この聖句を含めました。天の御父は万事を知恵をもって行っておられるので、万事はうまく行きますよ。彼に、そう念を押しました。御父はわたしたちを愛して、すべてを理解しておられます。御父に信頼を置くことができます。

それからほぼ1年半後、わたしはペルーの山岳地帯で伝道していました。そのとき、伝道部会長から突然の電話連絡を受けました。父が卒中で倒れ、危篤状態との知らせでした。しばらくして、父は亡くなりました。わたしは取り乱しました。次のような疑問に悩まされたのです。「果たして自分はこれを克服できるだろうか。」

答えを求めて、わたしは天の御父に祈りました。わたしがいちばん知りたかったのは、なぜわたしが別れを告げる機会も得られないまま、父が取り去られたのかという点でした。モルモン書を手に取って開くと、わたしはかつて同僚に伝えた同じ聖句を読みました。「しかし見よ、すべての物事は、万事を御存じである御方の知恵によって行われてきた。」この言葉はまるで毛布に包まれたような平安をわたしに与え、自分が混乱したとき恵みをもたらしてくれました。

地上の父親は亡くなりましたが、天の御父はいつでもわたしのそばにいてくださいます。天の御父は知恵をもって、あらゆることを行っておられます。わたしたちが探し求め、最善を尽くして自らを備えるなら、貴い答えを見つけることができるでしょう。■

クリストファー・ディーバー（アメリカ合衆国、カリフォルニア州）

ペルーの山岳地帯で伝道しているとき、伝道部会長から突然の電話連絡を受けました。



わたしは新しい奉仕の召しを通して、主がわたしをふさわしい時期に、ふさわしい場所へ連れて来てくださったことを確信しました。



輝かしい新たな章

2010年10月、夫に先立たれて、人生の一つの章を閉じました。そのころ、わたしは南フランスで教員として働いていました。仕事中の事故が原因で、わたしは自由には動けなくなりました。すぐには健康と体力を取り戻せないことに落胆しました。11年間も、やりがいのある仕事に携わってきたのです。その仕事が大好きでした。友人も大勢いました。それでも、もはや仕事の要求にこたえられなくなりました。

正直に言うと、33年間も知恵の言葉を守ってきたのに、なぜ自分が「走っても疲れることがなく、歩いても弱くはない」とはならないのか(教義と聖約 89:20 参照)、疑問を感じました。ついにわたしは早期退職を余儀なくされ、人生のもう一つの章を閉じることになりました。

当時、娘と一緒に住んでいましたが、彼女がパリ近郊への転勤の辞令を受け取りました。わたしは娘と一緒に行って、新しい場所で、人生の新しい章を開く決意を固めました。

引っ越してから間もなく、二人ともフランス・パリ神殿で奉仕する召しを受けました。わたしは、神殿で奉仕するという召しを通して、ふさわしい時期に、ふさわしい場所に自分がいることを確信しました。主がわたしをここに連れて来てくださったからです。主の宮で定期的に奉仕することに大きな喜びを見いだしています。しかも、娘と一緒に神殿にいる時間を持てるのは、何と貴重なことでしょう。心は喜びで満たされています。

今では、最初は苦難の向こうで見えなかった大きな祝福が、理解できます。自由には動けなくなり、仕事もで

きなくなって早期退職をするのは、つらいことでした。でも今は、主イエス・キリストがわたしを背負ってくださっていたことが分かります。歩調を緩め、休息と希望、そして平安を見いだせるように主が助けてくださいました。それらは現在の生活にとって大きな部分を占めています。

神殿の扉をくぐる度に、毎回、聖なる御霊を感じます。この世の様々な思い煩いに悩まされる困難な時代に、あらゆるものが秩序立った麗しい聖なる場所を、主が与えてくださっていることを知るのは、何とすばらしいことでしょう。神殿での奉仕という、人生におけるこの新しい章に深く感謝しています。それは輝かしい章です。■

シルビー・コーネット(フランス、イル・ド・フランス)



ジョセフ・スミス



サムエル・スミス



ルーシー・マック・スミス



ハイラム・スミス



ハイラム・ページ



三人の証人

マーティン・ハリス デビッド・ホイットマー オリバー・カウドリ



ローダ・グリーン
(ブリガム・ヤングの姉)



サリー・パーカー



ウィリアム・マクレラン



レベッカ・ウィリアムズ

知ることはすばらしいですが、それだけでは不十分です

モルモン書の証人から証を聞いた、初期の教会員たちの言葉を紹介します。

ブリガム・ヤング大学教会歴史・教義学教授
スティーブン・C・ハーパー

金 版や天使を見ることを除けば、モルモン書の証人の証を聞くことほどすばらしいことはないでしょう。初期の多くの教会員には、その機会がありました。これから挙げるのは、モルモン書の証人と話した何人かの会員の言葉です。ただし、ラッセル・M・ネルソン大管長が教えているように、モルモン書の証を得ることは「すばらしいですが、それだけでは不十分」だということがいずれ分かるでしょう。¹

レベッカ・ウィリアムズ：「その言葉は信用できます」

レベッカ・スウェイン・ウィリアムズは、1830年以降、オハイオでモルモン書の証を何度か聞きました。自分の証を父や兄弟に述べています。「わたしはスミス家の何人かと三人の証人自らの口から、同じ話を聞きました。聖なる天使が天から降って来て、携えてきた版を目の前に置いたと、彼らが公の集会で宣言するのを聞いたのです。」

その証を家族から否定されても、レベッカはひるみませんでした。引き続き家族を愛し、家族のために祈り、父親からの良き助言を大切にしました。また、モルモン書の証人たちが伝えた言葉にはうそ偽りがないと、父親に証し続けました。「彼らは立派な人格者で、その言葉は信用できます。……彼らは神の使いを見て、その御使いと言葉を交わしたのです。」²

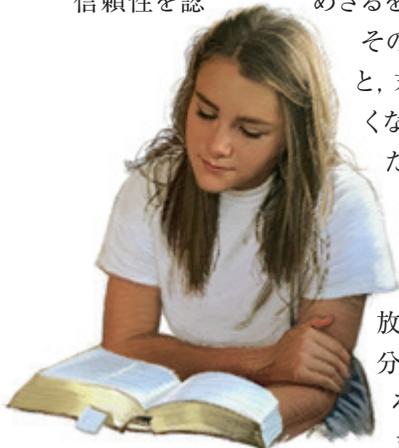
1830年代後半、教会から離反者が続出したころにも、レベッカは忠実で、モルモン書の教えに従うことを選んでいました。³

ウィリアム・マクレラン：「真実性……を認めざるを得ない」

1831年のことです。ある日の朝、ウィリアム・マクレランという名の若い学校教師は、何人かの男性がミズーリに行く道すがら「神からの啓示」と言われる新しい書物について説教することになっていると聞き、すぐさま走って行って、その説教を聞きました。「〔自分は〕聖なる天使に会い、その天使がこの記録に偽りが無いことを知らせてくれた」というデビッド・ホイットマーの証に耳を傾けていたウィリアムは、この証が聞

違いないのか知りたくてたまたま、400 マイル (約 644 キロ) の道のりを彼らについて行きました。そうしてミズーリ州インディペンデンスに着くと、そこでマーティン・ハリスやハイラム・スミスなど、ほかの証人たちと面談したのです。⁴

ハイラムとは何時間も話し込みました。「その記録の出現について根掘り葉掘り聞いた」とウィリアムは記録しています。翌朝、真理に導かれるようにと祈った後、ウィリアムは「正直なところ、モルモン書の真実性と信頼性を認めざるを得ない」ことを悟りました。⁵



その後数年間、ウィリアムの信仰は自らの選り取り、末日聖徒が受けた迫害によって試され、強くなりました。ミズーリ州ジャクソン郡の聖徒たちが襲われたとき、ウィリアムの友人であり八人の証人の一人でもあるハイラム・ページは、男たちからこん棒で殴られ、鞭で打たれて、モルモン書を否定するならば放免してやると言われたのです。「真実だと分かっていることを、どうして否定できるだろうか。」ハイラムがそう言うと、男たちはまたしても彼を殴りつけるのでした。

ウィリアムはハイラムの証に強められました。同時に当然のことながら、自分も打たれるのではないかと恐怖に震えます。ウィリアムはその地域の人たちが自分とオリバー・カウドリに懸賞金をかけていると聞くと、オリバーと二人で町を離れ、デビッド・ホイットマーとともに森の中に隠れました。ウィリアムはそこで、三人の証人のうち二人に話を聞くこととなります。ウィリアムはこう言いました。「わたしはこれまで、目の前に示現が開かれるのを見たことなどありませんが、お二人は見たのですよね。ですから、はっきりと知っているのでしょうか。今やわたしたちの命は絶えず危険にさらされています。暴徒に捕まったらおしまいです。神を畏れて教えてください。あのモルモン書は真実なのですか。」

オリバーは言いました。「ウィリアム兄弟、神はわたしたちに聖なる天使を遣わし、この記録の翻訳に間違いがないことをわたしたちに宣言してくださいました。ですから、わたしたちは知っているのです。暴徒に殺されようとも、わたしたちはモルモン書が真実であることを宣言しながら、死ななければなりません。」

デビッドがこう付け加えました。「オリバーが話したことは厳粛な真理です。わたしたちを欺くことはできません。わたしは心から、モルモン書が真実であると宣言します。」⁶

デビッドとマーティン、ハイラム、オリバー、ウィリアムはそれぞれ、ジョセフ・スミスが神の力によってモルモン書を翻訳したことを知るようになりました。彼らは金版に刻まれた福音が真実であることを知っていました。ところが彼らは後に、ジョセフに対する不満を募らせていき、ついにはモルモン書の教えに従って生活することをやめてしまったのです。

彼らがこのような選択をするのを見て預言者ジョセフは、モル

モン書は真実であって、「この世で最も正確な書物であり、わたしたちの宗教のかなめ石である」ばかりでなく、「人はその教えを守ることで、ほかのどの書物にも増して神に近づくことができる」と証しました。⁷

サリー・パーカー：「信仰において強く」

サリー・パーカーは、オハイオ州カートランドでルーシー・マック・スミスの家の近所に住んでいました。「彼女は全部話してくれました」と書いています。あなたは版を見たのかとサリーが尋ねると、「[ルーシーは] 版を見る立場にないので見てはいないけれど、版を持ち上げて版に触れた、と言いました。わたしは彼女の言ったことをすべて信じました。というのは、8 か月近所に住んでいましたが、彼女はこれまで出会った中で最高の女性の一人だったからです。」

1838 年、サリーはハイラム・スミスが証するのも聞きました。「彼はその目で版を見、その手で版に触れたと言いました。」⁸

1830 年代後半、多くの人が教会を去る中で、サリー・パーカーは仲間を失ったことを嘆きながらも、モルモン書の教えに従って生きる決意を新たにしました。「わたしはからし種一粒ほどのその信仰を守り抜くつもりです」とサリーは書いています。「わたしは今、その信仰の力を心に感じて

います。その信仰はバプテスマを受けたときと同じくらい強く、わたしの意志は変わりません。死ぬまで福音に従うつもりです。」⁹



ローダ・グリーン：「この人には神の御霊が宿っている」

ルーシー・マック・スミスは 1845 年の総大会で話しました。彼女の家族のうちモルモン書の証人だっ

た人たちはすでに全員、病気で亡くなるか、または殺害されていました。ルーシーは息子サミュエルの最初の伝道のときの話をしています。

八人の証人の一人であるサミュエルは、ロード・グリーンの家を訪れました。ロードの夫は別の教会の伝道活動をしていました。サミュエルは本を読みたくないかとロードに尋ね、「これはモルモン書といって、兄のジョセフが地面の下から取り出した版から翻訳したものです」と説明しました。

ロードはその本を1冊受け取ると読み、夫に見せました。その後、サミュエルが再びロードのもとを訪れると、夫には興味がないのでその本を買うことはできないとロードは言いました。サミュエルは悲しそうな顔をして、モルモン書を受け取ると帰り支度を始めました。ロードが後にルーシーに語ったところによると、サミュエルはそこで一息ついてロードの顔を見たのだそうです。「ロードはサミュエルのような人を見たことがありませんでした」とルーシーは大会で言っています。「この人には神の御霊が宿っていると思ったのです。」

サミュエルはロードに言いました。「御霊が、この本を持ち帰ってはならないとわたしに告げています。」ロードはひざまずき、一緒に祈ってもらえないかとサミュエルに頼みました。ロードはその本を手元に置いて読み、証を得ました。そして結局、夫も同じ証を得たのです。二人は、モルモン書の教えに生涯従うことを選びました。

ルーシーは、こう証しています。「このようにして御業は始まり、その後、この御業はからし種が成長して木になるように広がっていきました。」¹⁰

ロード・グリーンは、わたしの先祖です。わたしはモルモン書に対する彼女の証と、記録されている証人たちの証、またそれを聞いた人たちの証により、教化されています。モルモン書の教えに従うという選択を彼らがしたことが、わたしの励みになっています。

わたしたちはだれでも、モルモン書は真実だと聖霊が証してくださるときに、現代のモルモン書の証人になることができます。わたしは伝道に出る少し前に、モルモン書を読み終えました。それからひざまずくと、簡潔ながらも誠心



誠意、イエス・キリストを信じて祈りをささげました（モロナイ 10：3－4 参照）。すると、こんな気持ち強く感じたのです。「あなたはそれが真実であることをすでに知っています。」あらがうことなどどうも考えられないほどの平安とともに、そう感じました。わたしはそれ以来、モルモン書が真実の書物であることを知っています。

しかし、それだけでは不十分です。ラッセル・M・ネルソン大管長は、こう教えています。「自分も口にしますが、『モルモン書は真実だと知っている』という言葉を目にする度に、こう叫びたくなります。『すばらしいですが、それだけでは不十分です。』わたしたちは心の『底から』モルモン書が疑いなく神の言葉であると感じる必要があります。一日たりともモルモン書なしでは生きたくないと思うほど、深くそう感じなければなりません。」¹¹ネルソン大管長の教えは真実です。わたしは、モルモン書の教えに従って生活する努力を続けることによって、ほかのどんなことをするよりも神に近づくことができている。■

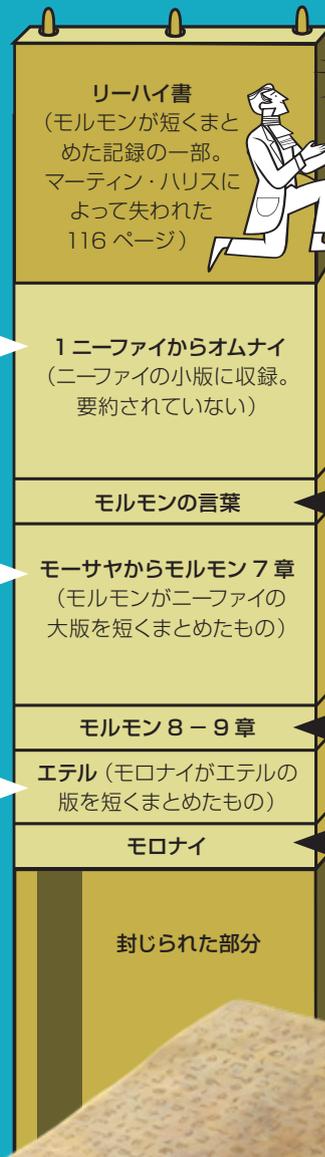
注

1. ラッセル・M・ネルソン「モルモン書——この書物なしの人生とは」『リアホナ』2017年11月号、62
2. Rebecca Swain Williams to Isaac Swain, Youngstown, New York, June 12, 1834, spelling standardized. See transcription and photographs of the letter in Janiece Johnson, “Give Up All and Follow Your Lord,” *BYU Studies*, vol. 41, no. 1 (2002), 97 – 102.
3. See also Janiece Lyn Johnson, “Rebecca Swain Williams: Steadfast and Immovable,” *Ensign*, Apr. 2011, 38 – 41.
4. See *The Journals of William E. McLellin: 1831 – 1836*, ed. Jan Shipps and John W. Welch, (1994), 29 – 33.
5. *The Journals of William E. McLellin*, 33, capitalization standardized.
6. In *William E. McLellin’s Lost Manuscript*, ed. Mitchell K. Schaefer (2012), 165 – 167.
7. J. ジョセフ・スミスの言葉、モルモン書序文で引用。For an analysis of this teaching, see Scott C. Esplin, “Getting ‘Nearer to God’: A History of Joseph Smith’s Statement,” in *Living the Book of Mormon: Abiding by Its Precepts*, ed. Gaye Strathearn and Charles Swift (2007), 40 – 54.
8. In Janiece L. Johnson, “‘The Scriptures Is a Fulfilling’: Sally Parker’s Weave,” *BYU Studies*, vol. 44, no. 2 (2005), 116, 115.
9. In Johnson, “‘The Scriptures Is a Fulfilling,’” 117.
10. Lucy Mack Smith, “This Gospel of Glad Tidings to All People,” in Jennifer Reeder and Kate Holbrook, eds., *At the Pulpit: 185 Years of Discourses by Latter-day Saint Women* (2017), 24.
11. ラッセル・M・ネルソン「モルモン書——この書物なしの人生とは」62

モルモン書はどの版から 編さんされたのか

預言者ジョセフ・スミスに
与えられたモルモンの版

モルモンの版の 幾つかの原典



ニーファイの
小版を入れた
ことに関する
モルモンの説明

父親の書いた記
録をモロナイが
完成させたもの

モロナイの記録、
タイトルページ
を含む

モルモン書は、古代の多くの預言者によって書かれました。預言者たちは、それぞれ自分の言葉を異なる金属板に記録したのです。これらの記録は後にまとめられてモルモンの版、つまり、ジョセフ・スミスの翻訳した金版になりました。

話し合い

金版に記録されていたはずの内容全体から見ると、モルモンをはじめとする人々が靈感を受けて選んでモルモン書に入れたのはほんの一部にすぎません(モルモンの言葉1:5および3ニーファイ26:6参照)。これを理解していると、現在モルモン書に含まれている章に対する見方が変わるのではないのでしょうか。■

* 年代はそれぞれの版が扱っているおおよその期間を表す



ジョセフ・スミスとモロナイのイラスト/フラスマン・ピーチ

リーハイの時代の エルサレム

1月6 - 12日

1ニーファイ1-7章

エルサレムは、政治的陰謀や悪事が渦巻くユダ王国の首都です。そのころ10年ほどは、特に悲惨な時代でした。ユダの王たちは殺されるか、さもなければ捕えられ、ユダヤ人はバビロンへ連行されました。エレミヤなどの預言者は、脅迫されたり投獄されたりしたのです。逃げるようにと主がリーハイに告げたのも、無理はありません（1ニーファイ2：1-2参照）。

• 人口：

25,000

（当時の基準では多い）

- 地形：砂漠、肥沃な溪谷、なだらかな丘
- 通貨：秤量貨幣（硬貨ではなく、銀や銅、金）
- 言語：ヘブライ語
- 労働者の内訳：職人、商人、奴隷（家族の一員と見なされていた）；多くは農業にも従事
- 食物：果物、パン、オリーブ、イチジク、あつもの
- 衣類：荒織りの毛織物、サンダル；祭司は白いローブ



- 宗教：腐敗した偶像礼拝；偽預言者が平和を告げた。羊の角で作ったラッパの音が聞こえると日々の祈りをした
- 社会構造：町の長老たちを含む祭司、家族の長、特権階級、または「血筋の良い人」
- 家族：世帯は中庭を囲む複数の家から成り、父親が率いていた。息子の家族や未婚の娘、おば、年老いた親族も同居していた
- 軍隊：当面は存在せず；兵士はすべてバビロニア人で、ユダ王国は彼らに貢ぎ物を納めていた ■

リーハイの示現の木の実が 意味するもの



リーハイの示現に出てくる「どんなものよりも好ましい」木の実は、何を象徴しているのでしょうか（1 ニーフアイ 11:22）。

「木の実は〔イエス・キリストの〕贖罪の祝福を象徴しています。その実を食べることは、儀式と聖約を受けて、贖罪が生活の中で完全に有効になることを指します。」（デビッド・A・ベドナー「リーハイの夢——鉄の棒にしっかりつかまる」『リアホナ』

2011年10月号, 34)

その儀式には、バプテスマと確認、聖餐、神権の聖任（男性）、神殿の儀式が含まれます。

木の实を見いだす

神の言葉を表す鉄の棒は、わたしたちをイエス・キリストへと導きます。なぜなら聖文と現代の預言者の言葉は、儀式を受けて聖約を交わすようわたしたちを招き、イエス・キリストの教えと使命、犠牲について理解するための助けとなるからです。

- あなたをイエス・キリストへと導いてくれたのは、聖文や現代の預言者のどのような言葉でしたか。

木の实のもとにとどまる

リーハイの示現に出てくる人の中には、人々からあざけり笑われたために木の实を捨ててしまった人がいました。木の实のもとにとどまるとは、交わした聖約をしっかりと守り、聖約を交わした場所に何度も足を運ぶということです。

木の实を分かち合う

木の实を食べた後、リーハイは家族にもそれを食べさせたいと思いました。自分の感じた「非常に大きな喜び」を家族にも感じてほしかったのです（1 ニーフアイ 8:12）。

- どうすれば、イエス・キリストの愛を人に伝え、ほかの人に儀式を受けてもらうことができるでしょうか。■



1月20 - 26日

1ニーファイ 11 - 15章

モルモン書によって回復された 分かりやすくて貴い真理

1ニーファイは、聖書の中の多くの教えが時を経て変えられるもの、神がその真理を回復する方法を備えられることを示現で見ました(1ニーファイ 13:26 - 40 参照)。

2

わたしたちはこの世に来る前に霊の状態が存在し、現世での生活のために学び、備えていました(アルマ13:3 参照)。



4

幼児はまだ責任を負うことができないため、バプテスマを受ける必要がありません(モロナイ 8:10 参照)。■

1

アダムとエバの墮落は、天の御父の計画の一部でした(2ニーファイ 2:22 - 25 参照)。



3

キリストは古代アメリカの民を訪れ、そこにキリストの教会を築かれました(3ニーファイ 11 - 26 章参照)。



ヤングアダルトのコーナー

44 どこにいたかではなく、どこへ向かっているか
リチャード・モンソン

デジタル版のみ

永遠を選ぶ
エビータ・アラボディ

急いで悔い改めを終わらせることはできない
リア・バートン

予期せぬ妊娠から道に戻るまで
ジョリ・リード

ヤングアダルト向けの記事は以下で御覧いただけます。

- liahona.ChurchofJesusChrist.org
- YAウィークリー（福音ライブラリーの「ヤングアダルト」の項）
- facebook.com/liahona

あなたの経験談を聞かせてください

分かち合いたいすばらしい話がありますか。読みたい特定のテーマがありますか。ぜひ聞かせてください。あなたの記事や御意見、御感想をliahona.ChurchofJesusChrist.orgまでお寄せください。

悔い改めは贈り物

悔い改めは恐ろしいものだ、ヤングアダルトは思いがちではないでしょうか。悔い改めとは愛する人や天の御父からの愛を失うものだと考えるならば、自分のしたことを認めるのは確かに恐ろしいかもしれません。そのような観点で悔い改めを見ると、次の段階へ進むテストのようなものを通るのに「かろうじて足りる」だけ告白することにしよう、という誘惑に陥るかもしれません。しかし、わたしは自分の経験を通して、それは**真の悔い改め**ではないことが分かりました。悔い改めは必ずしも心地の良いものではありませんが、どれほど**主が自分を愛し、助けたいと望んでくださっているか**を理解するならば、主が自分を清くすることがおできになるという信仰が働き、恐れは消え去ります。悔い改めを通してキリストを信じる信仰を働かせるときに、**過去の過ちに自分の現在や将来を決めさせる必要はない**ことを学びました（詳しくは、44ページのわたしの記事をお読みください）。

デジタル版だけの記事で、エビータは、**心から悔い改めると救い主とその贖罪に対する感謝の気持ち**が生まれ、将来の誘惑に抵抗する強さが得られると指摘しています。さらにリアは、日曜日の聖餐を待つ必要さえないと述べています。**毎日悔い改めを通して主に頼ることにより**、自分を主から引き離す小さな習慣までも断つことができます。そして、もし深刻な過ちを犯したときには、わたしたち一人一人に対する**救い主の愛が、悔い改めの過程で分かる**、とジョリは述べています。

悔い改めという賜物が生活の中にあることに感謝しています。わたしたちは人間なので時折愚かな選択をすることを神は御存じです。わたしたちは不完全ですが、**希望があります**。救い主に信頼を置くならば、主は天の御父のもとに戻る道を一緒に歩んでくださるでしょう—その道のりがどれほど長くとも。

頑張ってください！



リチャード・モンソン



SHUTTERSTOCK/GETTY IMAGES

ヤングアダルト



どこにいたか ではなく、どこへ向かって いるか

リチャード・モンソン

人は生は思うようにはいき
ませんでした。

18歳で専任宣教師として奉仕し、その後間もなく結婚し、25歳までには子供がいるものと思っていました。現在32歳です。伝道に出ませんでしたし、大人になってからはほとんど教会に行きませんでした。結婚はしましたが、離婚し、再婚しました。

何度も細くて狭い道からそれたため、教会になじめたわけではありません。しかし、やがて自分の居場所があることに気づきました。経験を通して、救い主の力と贖罪が実在することと、最も大切なのはどこにいたかではなく、どの方向にこれから行こうとしているかだということを学びました。

最初は自分の証が伝道に出られるほど強いかどうか自信がなかったため、自分の信じていることを疑ったのだと思います。高校を卒業するころに、「自分の証が完全には自分のものでないとしたらどうなるのか。ほかの人の証に頼りすぎているとしたらどうなるのか」といったようなことを考えていたのを覚えています。

悩みました。伝道に出たいとは思いましたが、わたしの思い描く「成功する宣教師」になるのに、それまでの霊的な経験で十分なのか疑問でした。成功する宣教師は、霊的な強さを十分備え、人に教えられるほど福音について十分知っているものだと思っていたのです。

わたしは細くて狭い道から何度もそれましたが、そのすべての経験を通して、救い主の力と主の贖罪が実在することが分かりました。



自分の霊的な
能力を人の
それと比べて
ばかりいま
した。

振り返ると、教義と聖約 124 章 97 節にある勧告を理解できるよう神に助けを求めるべきでした。「彼〔を〕わたしの前に謙遜……にさせなさい。そうすれば、彼はわたしの御霊、すなわち慰め主を受け得るであろう。その慰め主は、すべてのことについて彼に真理を明らかにし、また彼の言うべきことを必要なときに彼に知らせるであろう。」

しかし、わたしは神に求めるのではなく、自分の霊的な能力を人のそれと比べることばかりしていて、適任とは言えない自分は、人が福音を受け入れる妨げになるのではないかと恐れました。

ヤングアダルトとして親元から離れて暮らしながら、自分が何を信じているのかを知ろうと努力を続けました。わたしという人間自体を変えることはないと思って下していた個々の決断が、悪影響を及ぼすことを理解していませんでした。愛する人たちがわたしの選択に落胆することは分かっていたので、わたしは彼らから遠ざかり、わたしが何をしているかをあまり気にしない人々の中に身を置くようになりました。

ある日、興味本位でアルコール飲料を飲んでみました。飲酒は生活に欠かせない一部となり、やがて単なる娯楽から、つらい経験に対処する支えとして使うものになりました。当時の生活が悪い方へと変わっていったのは、必ずしも特定の一つの選択が原因になっていたわけではありません。徐々に変わっていったのです。長年続けてきた小さな選択のせいで、望んでいなかった場所に来てしまったことに気づくのに、2 年かかりました。

福音が真実だと分かるために反対のものを経験しなければならぬと言っているではありません。わたしの行いの数々は、自分だけでなく、愛する人をも傷つけました。その多くは不必要なものでした。へりくだれたおかげで、次のことに気づけたことに感謝しています。(1) わたしは惨めであったこと。(2) 神の戒めに従って生活しているときに最も幸せだったこと。わたしは自分で知りました。それは、自信をもって人に伝えられることでした。

間違いを正すためにビショップのもとへ行きました。そして定期的に会って、宣教師として奉仕する備えをしました。書類がほぼそろそろというときに、わたしは自分が選んで行った幾つかの事柄をビショップが分かっているか確認するよう促されました。話をするのは簡単ではありませんでしたが、伝道に行きたいという気持ち以上に、神の前に正しくありたいと思いました。自分の過ちを進んで認め、すべてを主の前に明らかにして、主に清めてい

ただこうとしました。

間もなくわたしは宗紀評議会に諮られました。それまでずっと自分の指導者や助言者だった人たちの前で自分が行ったことを認めるのは、いろいろな意味で怖いことでしたが、部屋を見回すと平安を感じました。彼らがそこにいるのは、わたしを理解し助けるためだと分かったのです。そこを去るときに、どのような裁定が下ろうと、すべきことをしたのできっと大丈夫だという御霊の確認を感じました。神とわたしを愛してくれる指導者たちは、わたしがいなければならぬ所に行けるよう力を貸してくださいませ。帰り道、わたしは救い主の愛を感じ、自分が主の贖いの効力の及ばない所にいるわけではないことを確信しました。

不完全な場所

平安を感じてはいたものの、なぜ伝道に行かないのかと人に聞かれるのはつらいことでした。ビショップの助けを受けながら悔い改めの過程に取り組み続けていくうちに、将来宣教師として奉仕することはなさそうだと、だんだん思えてきました。人生をどのように歩んでいけばよいのかを考えなければなりません。21歳のとき、宣教師候補者でも帰還宣教師でもなく、ヤングアダルトの既婚のグループにも属さなかったわたしは、なかなか居場所を見いだせませんでした。

デートもうまくいきませんでした。伝道に出ないことや、ある期間不活発だったことを告げると、接し方が変わる女の子もいました。どういうわけかほとんどの場合、最初のデートで交際が途絶えてしまいました。

やがて神殿で結婚できたことをうれしく思いましたが、それでも時折なじめないと感じました。わたし

には証がありましたが、どのようにして伝えればよいのか分かりませんでしたし、教会のレッスンは、不合格になるのを友達に見られるテストのように感じました。きっとほとんどの人はわたしが送ってきた生活を送っていて、わたしほどつまずいたことはないのだろうと思っていました。

ある日、ビショップに呼ばれ、長老定員会を教える召しを告げられました。前の年に長老定員会に出席したのは2度だけだったため、驚きました。大きな不安を抱えながらも、その召しを受けました。初めて教える日曜日、たぶんだれも聞いたことのないような奇妙な自己紹介でレッスンを始めました。

「兄弟の皆さん、わたしはリチャード・モンソンです。伝道に出たことがありませんし、大人になってからはほとんど不活発でした。長老定員会に属しているような気がしませんし、なじめないのです。ほとんど出席したことがありません。皆さんの質問すべてには答えられないでしょうが、皆と一緒に学べるよう、積極的に参加してくださいませ。こんな過去を持つ自分でもよければ、始めたいと思います。」

その日、わたしは人と自分に対して、あることを認められたことに気づきました。自分は「まじめ」（伝道に出て、ずっと活発で、深刻

自分は「まじめ」ではないと思っていましたが、人と同じ方向に向かっており、それが大切なのだと認めることができました。



な過ちを犯したことの無い人)ではないと思っていましたが、みんなと同じ方向に向かっており、それが大切なのだと認めることができたのです。驚いたことに、完璧な生活を送っているに違いないと思っていた人たちの中に、間違いを犯したことの無い人が何人もいたことを知りました。そのことは、完全さがクラスや教会全体に価値をもたらす条件ではないことを、わたしたち皆に改めて教えてくれたように思います。

つらい時期と決断

残念ながら、教会に活発に集い続けることはできませんでした。結婚生活がうまくいかず、苦痛から逃れるために昔の悪い習慣に戻ってしまったのです。教会に行く代わりに趣味にのめり込むようになりました。

3年後、わたしはどん底まで落ち、決断に迫られました。生活で何が起ころうと、福音に従った生活を自分で送ることができるだろうか。それとも、闇に屈してしまうのだろうか。細くて狭い道にしっかりとどまるためには、生活の中にある様々な悪影響を取り除かなければならないことは分かっていました。また、教会に戻りたいという望みがわたしにあったために、伴侶とは異なる道を歩んでいることが浮き彫りにもなりました。当時、夫婦関係がそのような状態だったために、すでに離婚に向かっていました。

わたしは恐怖を覚えました。努力しても、この世で得たいと望む良いものを手に入れられるという保証はありません。しかし、何年も前に悟ったことに基づいて決断することにしました。福音に従った生活をしているときに最も幸せだった、ということで

す。完全に覚悟を決め、何があろうと主の手に委ねることにしました。それ以後はずっと、主と一緒に歩んでいます。

再び教会に来て、生活を正しい方向に戻しました。最も幸せだったのは、神殿推薦状を再び手にしたときでした。夫婦関係が悪くなっていき、やがて終わりを迎えるまで、神殿で慰めを見いだしました。

自尊心の源を見つける

離婚を決意するのは恐ろしいことでしたが、その経験を通して、自分の歩む道に神の手が差し伸べられることに感謝するようになりました。つまりきましたが、競走に負けたわけではありません。だれかと競っているわけではなかったのです。自尊心を求めて救い主に頼ったときに、自分を見る他人の目を変えるために全力を注ぐのをやめることができました。

教会で一人で座っていても、異なるライフステージにいる会員の中にも、気にならなくなりました。隠れないよう努力し、ワードの人たちと話そうとしました。本来の目的のために集会に楽しんで参加できるようにになりました。

そのような平安のおかげで、デートも再開できました。やはりなかなか2回目のデートにこぎつけることはできませんでしたが、過ちを犯したからといって標準を落とす必要はないことを、もう理解していました。全力を尽くして福音に従っていましたが、同じように全力で福音に従っている人とデートをするにはそれで十分だったのです。

最終的に、神のふわさしい娘を見つけて神殿で結婚しました。彼女の歩んで来た道はわたしのそれとは大きく異なっていましたが、救い主の愛や主の贖罪への理解という点では、わたしたちは同じでした。

長い年月をかけて、過去や人からどう思われるかによって現在の自分の価値を決めてはならないことが分かるようになりました。成功を一連の人生経験で判断するというような考え方を捨てました。今に至った経緯を知る人すべてが、わたしが今ここにいることを高く評価してくれるわけではありませんが、それで構わないのです。わたしの目標は、その人たちに納得してもらうことではありません。悔い改め続けて救い主に近づくことです。主のおかげで、悔い改めたアルマの息子のように、「二度と罪を思い出して苦しむことがなくなった」のです(アルマ 36 : 19)。大切なのは救い主の方へ向かっていることだと分かっているので、平安を感じることができます。■



リチャード・モンソンは、アメリカ合衆国ユタ州在住で、ソフトウェア開発プロジェクトマネージャーとして働いています。リチャードと妻は時間があると一緒にバイクでツーリングに出かけたり、旅行や料理をして楽しめます。

つまりきましたが、競走に負けたわけではありません。だれかと競っているわけではなかったのです。



「子供と青少年」に取り組むのがとても気に入っています。

達成する目標を自分で決められるからです。

親族の名前を見つけて、死者のためのバプテスマをするのを目標の一つにしました。家族歴史の進め方を覚えるのはほんとうに大変でした。でも、神殿に持っていく新しい名前を見つける度に、とても幸せな気分になりました。

一旦コツをつかむと、とても楽しくて、後はどんどん進めていくだけでした。自分だけではできないくらいたくさん名前がすぐに見つかりました。それで、見つけた名前を持って、大勢のいとことみんなで神殿に行き、協力して 172 人のためにバプテスマと確認の儀式をしました。

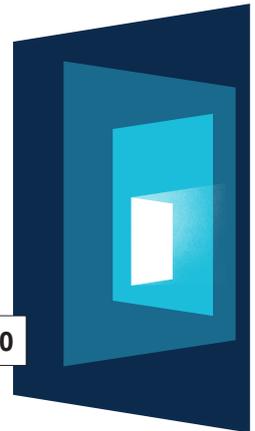
両親は今この人たちのために残りの神殿儀式を終わらせようとしています。ほんとうにすごいことです。家族全員が一つのチームになったみたいだからです。ぼくたちの目標は、できるだけ多くの先祖を助けることです。

家族歴史の活動をすることで、生きている家族と先祖の両方に近づくことができました。目標が達成できてとてもうれしいです。今度はもっと難しい目標を立てて、もっと達成し続けたいと思っています。

エルドン・M,

13 歳 (アメリカ合衆国, オハイオ州)

青少年のコーナー



60

go and do 行っておこなう

52 子供と青少年 ——
日常生活における強調点

ヘザー・バージソンと
アマンダ・ダン

56 行っておこなう

中央若い女性会長会・
中央若い男性会長会

59 モルモン書の力を解き放つ

シンモニー・アン・パーク

60 2020 年ユーステーマソング
「I Will Go and Do ——
行っておこなう」

ニック・デイ

64 大切なメッセージ ——
神を信頼し、行っていく

ヘンリー・B・アイリング管長



子供と青少年

日常生活における強調点

教会機関誌
ヘザー・バージソンとアマンダ・ダン

「子供と青少年」には、こなすべき全目標に細かなチェックリストがないことに驚く人もいるかもしれません。皆さんはすでに素晴らしいことを数多く行っています。ですから、個人に合わせたこの取り組みはむしろ、個人の必要や関心事から発想を得るような形で、皆さんが救い主にさらに近づく助けとなるよう作られました。

「子供と青少年」のおもな目的は、イエス・キリストを信じる信仰を強められるように皆さんを助けることです。ルカ 2 章 52 節によると、イエス・キリストは少年のころ「ますます知恵が加わり、背たけも伸び、そして神と人から愛され」ておられたことが分かります。主はバランスの取れた生活を送られました。皆さんもそうすることができます。生活の霊的、社会的、身体的、知的な側面に焦点を合わせることで、皆さんもさらに救い主のようになることができるのです。

どのような成果があるか

「子供と青少年」は、福音学習、奉仕と活動、個人の成長に取り組むことを通して、皆さんの霊的、社会的、身体的、知的な成長を促します。



福音学習

「ますます知恵が加わ〔った〕」と救い主についてあるように（ルカ2：52）、皆さんも福音に関する知識と理解を増し加えることができます。皆さんが学ぶ福音の原則一つ一つが、救い主がどのようにして生活のあらゆる面で皆さんを強め、祝福して下さるかを知らしめる助けとなるでしょう。

福音の原則についてさらに学び、救い主に似た者となるうえで、活用できるものが数多くあります。例えば、祈りや聖文研究、御霊は、基盤を築いてくれます。家族や教会指導者は、皆さんが救い主についてさらに学べるよう助けることができます。「わたしに従ってきなさい」の教科課程やセミナーは、学習の指針となります。身の回りにあるリソースを活用してイエス・キリストと主の福音について学ぶとき、皆さんは主とのより良い関係を築くことができますでしょう。

奉仕と活動

奉仕は、救い主が地上におられた間になされたおもな働きの一つです。家族や地域社会の人々の助けになる、簡単で無理のない方法を見いだすことで、皆さんは主の模範に倣い、さらに主に似た者となるという決意を表明しているのです。

有意義なグループ活動は、皆さんやほかの青少年が人々に奉仕する方法を見だし、ともに霊的な成長を遂げる助けになるでしょう。心楽しく、人を高めるような活動は有益です。若く忠実な末日聖徒のグループとして集まるとき、皆さんはしばしば、自分独りでするよりもはるかに多くのことを学び、成し遂げることができます。

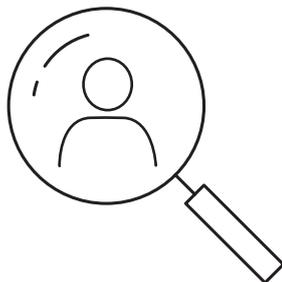
個人の成長

天の御父とイエス・キリストは、皆さん自身と、皆さんがなろうとしている人物像に、深い関心を寄せておられます。天の御父が望まれるような人に成長するために目標を立てるなら、御父と御子に近づくことができます。

だれもが独自の存在です。ですから、皆さん個人が向上するための目標もまた、各自の必要に合った独自のものであるべきです。例えば、ピアノで賛美歌を弾けるようになりたいのなら、毎日練習するという目標を立ててもいいでしょうし、聖文研究を改善したいのなら、毎日一定の時間を取って読むよう決めることができます。自分にとって最も効果的な計画を立てられるよう、御霊の導きを求めてください。

「子供と青少年」は皆さんのためのものです

最も益を受けるのは皆さんです。自分の目標を立てて福音を学び、福音に従って生活し、奉仕や活動に携わり、個人的に成長することで、皆さんは自分自身と、自分がほんとうは何者であるかについて、さらに多くを学ぶでしょう。イエス・キリストの弟子になるという務めは困難なものかもしれませんが、それが自分で掲げられる、最もやりがいのある目標なのです。



「子供と青少年」に取り組み始めた双子の姉妹

日々の生活でさらにイエス・キリストに似た者になるよう努力することでもたらされる祝福を、皆さんのような青少年がすでに目にし始めています。アメリカ合衆国オハイオ州出身の双子の姉妹、ダニカ・Rとナターシャ・R（15歳）は、まさにそうしようと決意しました。父親はタイ出身で、二人は時々タイに住む親戚を訪ねます。そこで、ダニカとナターシャは、タイ料理やタイ語をもっと学びたいと思い、そうすることにしたのです。

ダニカはタイのスープの作り方を習うという目標を立てました。そこで材料を買い求め、父親と一緒に慣れない調理技術を練習しました。ナターシャは、タイにいる親戚とコミュニケーションを取れるようになりたいと思ったので、知らないタイ語を毎日一つ覚えるという目標を立てました。言語学習に役立つウェブサイトを使って、父親と発音練習をします。

それぞれの目標に取り組むうちに、ダニカとナターシャは学んだことを地元のワードの若い女性たちに分かち合いたいと思うようになりました。すると指導者が、タイに



ついてもっと学ぶ活動を計画できるようにしてくれたのです。活動で、ダニカがみんなのためにスープを作る一方、ナターシャはタイの言葉を幾つか教えました。

双子の姉妹はまた、友人のグレースをこの活動に誘いました。グレースは人前でもっと上手に話せるようになるという目標を個人で立てていた^{はし}ので、箸を使ってスープを食べる方法を^{はし}紹介してもらいました。

目標に掲げたことを実践し、指導者やほかの若い女性と協力することで、ダニカとナターシャは友人たちと楽しく過ごす愉快的な夕べを計画することができたのです。

「子供と青少年」に携わることで得られる祝福

ダニカとナターシャによると、彼女たちは自らの受け継ぎについてさらに学ぼうと努め、受け継いだものを家族や





ほかの若い女性とともにたたえることで、多くの祝福を受けました。こうした経験をすることに当たり、困難がなかったわけではありません。ナターシャはこう説明しています。「学校に通いながらタイ語を勉強したので、時間を見つけるのが難しいときもありました。」ダニカもこう話しています。「活動では、その場にお父さんがいなかったの、自分だけでスープを作るのは少し大変でした。」しかし、最終的には行うだけの価値があったことを二人とも認めています。

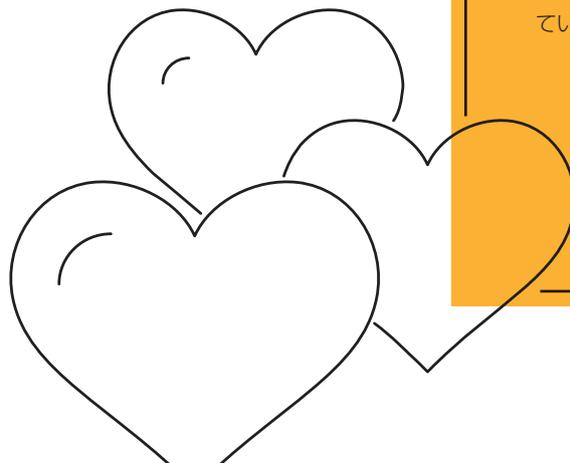
ダニカはこう言っています。「お父さんと一緒に過ごせてよかったです。おかげで、家族をもっと身近に感じられるようになりました。」またこうも説明しています。「個人の目標を立ててやり通すことは、イエス・キリストにもっと近づく助けになりました。目標のおかげで自分自身やほかの人の助けになるような明確な道が分かるからです。夜に何げなく時間をつぶす代わりに、従い、守るべき標準を定めたおかげで、キリストについて考える時間が増えたんです。」

ナターシャはこう語っています。目標を掲げてやり通すことで、「さらにキリストに近づくために、行う必要のあることや行いたいことについて深く考えました。」ナターシャはすでに照準の的を

新たな目標に移していますが、タイ語を学び続けるようにという霊的な促しを受けたことについても話してくれました。「当初の目標は、タイ語を学んでタイに住む親戚と言葉を交わせるようになることでした。ですから、これからもタイ語を学び続けて親戚と話せるようになりたいです。」

ダニカとナターシャはバランスの取れた方法で個人の能力を伸ばすことによって、父親の文化についてさらに学び、友人と楽しく過ごし、自身の家族や救い主にさらに近づくことができました。これこそ「子供と青少年」が目指すものです。

皆さんも「子供と青少年」に取り組むことで、家族やほかの青少年、ワードの会員との関係を築く助けとすることができます。また最高の自分になることに焦点を当てるときに、とりわけ救い主との関係を築くことができます。■



「子供と青少年」に取り組むためのヒント

成長に向けて取り組む最良の方法は、自分や家族、周りの状況に合うように、祈りをもって自分に合った目標を設定することです。そのためのヒントをいくつか紹介しましょう。

1. 個人的な啓示を求める

靈感を求め、受けた導きに従うとき、天の御父は皆さんを導いてくださいます。

2. 教会外にも視野を広げる

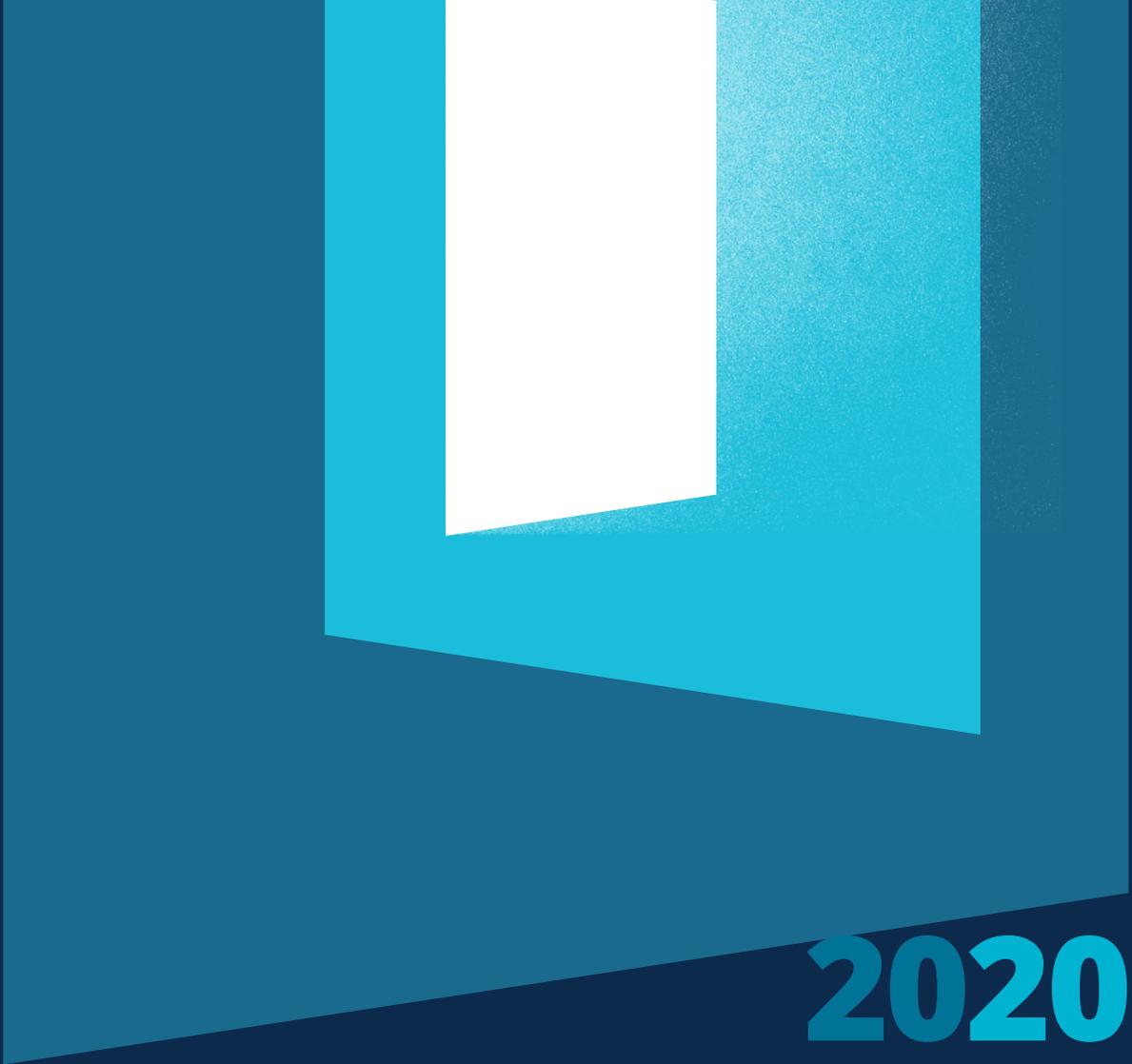
教会の集いや活動に関してだけでなく、生活のあらゆる面で向上を図るような計画を立てるなら、「子供と青少年」から最大限の益を得られるでしょう。

3. 家族を巻き込む

目標を新しく立てたり、進み具合を確認したりするのを家族に手伝ってもらいましょう。

4. 学んだことを活用し、分かち合う

学んでいることを家族や友人などに分かち合うとき、皆さんは福音を広め、散らされたイスラエルの民を集めるという主の戒めを果たす助けをしています。



2020

go and do
行っておこなう



信仰をもって行動する

中央若い女性会長会

今年のテーマは、モルモン書の忠実な預言者ニーファイが第一ニーファイ3章7節で述べた「行って……行きます」という力強い宣言に焦点を当てています。しかし、恐らくこの節で最も励みになるのは、主の業が成し遂げられるよう、主によって常に「道が備えられて [い] る」ことをニーファイが教えている部分でしょう。

神が自分の前に道を備えてくださるという信念を持つには、深い信仰が必要です。神から何かを行うよう求められたのなら、それを成し遂げられるように神が助けくださることを、ニーファイは知っていたのです。また、ニーファイには信仰と主への信頼があったからこそ、真鍮の版を無事手に入れることができたことを、わたしたちは知っています。

ニーファイのように、わたしたちも「行って行く」信仰を持つことができます。皆さんは、教会の指導者や親の教え、あるいは聖霊の促しでさえ、その背後にある「理由」を必ずしも理解できるわけではないかもしれません。道理にかなっていないように思えることもあれば、成し遂げるのが不可能に思えることさえあるかもしれません。けれども、「神には、なんでもできないことはありません。」(ルカ1:37) 信仰をもって前進するなら、神が常に理由と計画をお持ちであることが分かるようになるでしょう。

神は、皆さんにはできないと御存じであることをするようお求めになることは決してありません。皆さんが失敗するようお定めになることなど断じてないのです。しかし主は皆さんに、強い信仰を要し、導きを求めて御霊に頼ることが必要となるようなことを行うよう求められるかもしれません。

「行って行く」信仰を得る鍵は、自信を育むことです。主を信頼するとき、皆さんは、主が自分をあらゆる務めを果たすに足る者としてくださることを確信するのです。考えてみてください。皆さんがこの時代に地上に送られたのは、皆さんに今ここで主の業を行う備えができており、その能力があるからです。主は皆さんを信頼しておられるがゆえに、この時代に生きるよう皆さんをお選びになったのです。

信仰と自信をもって行動することで得られる祝福は素晴らしいものです。皆さんは、より重要な、またよりの絞った観点から、自らの独自性や目的を知るようになり、イエス・キリストとその贖罪に対する信頼が増すでしょう。そうして、主の助けにより、自分が十分に価値があると分かるようになるのです。■





ニーファイのように

中央若い男性会長会

—— ニーファイが父親に、「わたしは行って、主が命じられたこと
—— を行います」と告げたとき（1 ニーファイ 3：7）、彼はわたしたちに、信仰と勤勉な従順という、霊を鼓舞する模範を示しました。行って行うというニーファイの決意は、主と主の預言者に対する個人的な証と、彼が備え持つ霊的なレジリエンス〔訳注 — 跳ね返す力、耐性、快活さといった意味があり、逆境などに対する精神力を表す〕という、わたしたち皆が伸ばせる二つの重要な特質に根差しています。

証を育む

ニーファイが従順であったのは、父親への主の戒めに対して自分自身の証を求め、得ていたからでした（1 ニーファイ 2：16 – 20 参照）。ニーファイには、真鍮の版を手に入れるという務めが難しいものになることが分かっていました。しかし兄たちとは違い、ニーファイは、主がともにいてくださり、成し遂げるために道が備えられていることを知っていたのです。

神とその預言者に対するこうした信仰は、生涯にわたってニーファイを祝福し、支え、奇跡的な事柄を成し遂げる助けとなりました。ニーファイのようにわたしたちも、生ける預言者や聖霊のささやきから、あるいは聖文から受ける勧告に従おうと努力するときに、人生で偉大なことを行うことができます。例えば、今日の主の預言者であるラッセル・M・ネルソン大管長は、イ

スラエルの集合を助け、救い主の再臨に備えるようわたしたちに求めています。¹

神の言葉を調べ、それに従うとき、わたしたちの信仰は強められ、たとえ困難であることが分かっているときでも従順であり続けようとする決意を心の内に抱くのです。

霊的なレジリエンスを育む

ニーファイの模範からも、レジリエンスというキリストのような特質を学ぶことができます。レジリエンスとは、安易な解決策を見つけようとすることなく、困難を切り抜けていくことです。だれの人生においても、難しくて負担の大きなことを行うよう求められるときがあります。そのような状況にあって、キリストを信じる信仰に頼り、「安易な悪ではなく、困難な善」² を選ぶなら、祝福を受けるでしょう。

難しい決断や課題に直面したら、「行って行う」という態度を持つことで、くじけることなく持ちこたえられるようになります。受けた導きに忠実に従うことで、自分は主の信頼に足る者であり、イエス・キリストへの信仰を増していただける者であることを主に示すのです。

皆さんが自身の証と霊的なレジリエンスを育み、「行って行う」という態度を身につけるよう誠実に努めるなら、今年一年、また皆さんの生涯を通じて、主は皆さんを祝福し、強め、支えてくださることでしょ。■

注

1. ラッセル・M・ネルソン「シオンのつわもの」（2018年6月3日、ワールドワイド・ユースディボーション）HopeOfIsrael.ChurchofJesusChrist.org 参照
2. トーマス・S・モンソン「選択」2016年4月の総大会

モルモン書の 力を解き放つ

シンモニー・アン・パーク

フィリピンで伝道中に、同僚とわたしは毎日モルモン書を研究することの大切さについて、特別に力強いレッスンを教えました。レッスンの終わりに、同僚が聖文研究について証を述べました。これまでわたしが耳にした中でも特に力強い証でした。モルモン書を読むことで説明できない新たな力が自身の生活に加わったと、彼女は証したのです。

モルモン書にかかわる経験によって同僚の人生が変わったことは明らかでした。わたし自身もそのような経験がしたいと思いました。

そこでその夜、モルモン書をもう一度読もうと決意しました。初めから読むのです。

長い間ひざまずき、聖霊からもたらされる改心と力を経験したいという望みを神に打ち明けました。

受けた答えはこうでした。「読みなさい。ただ読むのです。」

わたしはそのとおりにしました。新たな熱意をもって読むことに没頭したのです。各節、各章、各ページに特別な注意を払って読んでいくうちに、自分の疑問に答え、不安を和らげる聖句、教えている人たちの重荷を軽くするのに役立つ聖句を幾つか見つけました。

1か月ほどして、自分の内面で何か

が変わりつつあることに気づきました。人を愛する能力が増し、将来について以前にも増して希望を抱くようになったのです。毎日さらに熱心に、より長い時間奉仕できるようになり、もっとこの業に集中するようになりました。そして、とても大きな喜びを感じ始めたのです。

ある日のこと、福音を学んでいると、以前の大管長であったエズラ・タフト・ベンソン大管長（1899 - 1994年）の次のような言葉に出くわしました。「[モルモン書]には力があって、真剣に読み始めるやいなやその力は読む者の人生に流れ込み……ます。……神の言葉に飢えや渇きを覚え始めると、人はいよいよ豊かに命を見いだすようになるのです。」¹

研究を続けていくうちに、わたしはその言葉の意味を真に理解できるようになってきました。いよいよ豊かに命を見いだしつつあったのです。

思い返せば、彼女と同僚になった理由の一つは、その晩そこにいて彼女の証を聞くためであったと確信しています。愛や希望、信頼、勤勉、決意、喜びといった人生の良い部分すべてが増し加えられたように感じました。

人生に新たな光が差し込み、それが現実のものであることを知ったのです。■

筆者はアメリカ合衆国アリゾナ州在住です。

モルモン書の力を 生活の中に解き放つには どうすればよいでしょうか

1. 毎日読む。
2. テーマごとに学ぶ。
3. 学習用手引きを利用する。
4. ほかの人と話し合う。

「毎日祈りの気持ちでモルモン書を研究するならば、皆さんは毎日、さらに良い決断を下すようになると約束します。」²

注

1. エズラ・タフト・ベンソン「モルモン書——わたしたちの宗教のかなめ石」『聖徒の道』1987年1月号、6-7参照
2. ラッセル・M・ネルソン「モルモン書——この書物なしの人生とは」『リアホナ』2017年11月号、62参照

I Will Go and Do — 行っておこなう

2020年度ユーステーマソング

思いを込めて ♩ = 78

詞・曲 ニック・デイ

1. A C#m F#m

4

1. どころにいても ひとりじゃない
2. あるきつかれ たちどまると

4 D A C#m

4

*(2番のみ)

もうすすめない
しゅがそばにいるから くるしくても
おもいだすあのひび *(もうすすめない)

7 F#m D A

10

てをのぼせば にぎりかえしてくれ たどれ
そんなときも ただあいしてくれ たたり

10 C#m F#m D

13

ほ ど い あ き ら め か け て も た す け て く れ な
 な い ち か ら を く れ た ん だ わ す れ は し な

13 Bm7 A E Bm7

16

る い I will go and do す す ん で こ う こ わ が ら

16 D A C#m

19

な い で た だ ま っ す ー ぐ ー し ん じ る ひ と に み え る の

19 F#m D A

22

は む か う べ き ば し ょ さ あ て を と り あ っ て ー み ち は そ こ

22 C#m F#m D

To Coda ⊕

25 1. 2.

に に けわー しいー みちー も どこへだってい

25 A E F#m

28

ー くー のぞま れれー ばそのー さきに

28 E7 A

30

ー しんじらー れないよー なせかいー がまって

30 D E

32

ー る さあい こ う I will go and do すすんで

32 Bm7 D E A

D.S. al Coda

36

8

こう しゅのこえをきこう みみすましーてー しんじる

36 C#m F#m D

CODA

39

8

に --- --- すぐそばに

39 A C#m F#m

42

8

どこにいても

42 D A

44

8

ひとりじゃない しゅがそばにいる から

44 C#m F#m D

神を信頼し、 行って行く

大管長会第二顧問

ヘンリー・B・アイリング管長

モルモン書で若いニーファイの話を読むと、主をいっそう信頼し、その戒めに従おうという気持ちになります。次の言葉は、わたしたちが心の内に感じることのできる、またしっかりと感じなければならない信頼を表しています。これを語ったとき、ニーファイは危険で命がけの難題に直面していたのです。「わたしは行って、主が命じられたことを行います。主が命じられることには、それを成し遂げられるように主によって道が備えられており、それでなくては、主は何の命令も人の子らに下されないことを承知しているからです。」(1 ニーファイ 3 : 7)

このような信頼は、神を知ることから生まれます。福音の回復という輝かしい出来事のおかげで教会員は、地上のだれよりもよく感謝の気持ちを感じてきました。わたしたちが神を信頼できるよう、神が御自身のことを明らかにしてくださったのです。

わたしにとってそれは、1820年に一人の少年がニューヨーク州の農場の森で経験した出来事と端を発します。その少年ジョセフ・スミス・ジュニアは、人のいない場所に歩いて行き、ひざまずいて祈りました。神が祈りにこたえてくださることを信じて疑いませんでした。わたしはこの話を読む度に、神とその僕たちへの信頼が深まります。

「わたしは自分の真上に、太陽の輝きにも勝って輝いている光の柱を見た。そして、その光の柱は次第に降りて来て、光はついにわたしに降り注いだ。

……そして、その光がわたしの上にとどまったとき、わたしは筆紙に尽くし難い輝きと栄光を持つ二人の御方がわたしの上の空中に立っておられるのを見た。すると、そのうちの御一方がわたしに語りかけ、わたしの名を呼び、別の御方を指して、『これはわたしの愛する子である。彼に聞きなさい』と言われた。」(ジョセフ・スミス—歴史 1 : 16 – 17)

御父は、御自身が生きておられ、イエス・キリストは御父の愛子であられること、またわたしたちを救うために御子を遣わされるほどわたしたちを愛しておられることを明らかにしてくださいました。そしてわたしには、神がこの少年を預言者に召されたという証があるので、現代の神の使徒と預言者を信頼し、彼らが神に仕えるよう召す人たちをも信頼しています。

学び、悔い改めて、神が求められることを行って行くという意味をもって耳を傾けるとき、皆さんは神に対する信頼を示していることとなります。神を十分に信頼して、神の僕を通して与えられる、神の励ましや懲らしめ、導きのメッセージに耳を傾けるならば、それを見いだすでしょう。そして、行って神が望んでおられることを行うならば、神を信頼する力は強くなり、やがて神が自分を信頼してくださっていることを知って感謝の念に満たされるでしょう。■

2010年10月の総大会における説教から。



go and do

行っておこなう



「そこで、わたしニーファイは父に言った。『わたしは行って、主が命じられたことを行います。主が命じられることには、それを成し遂げられるように主によって道が備えられており、それです。主は何の命令も人の子らに下されないことを承知しているからです。』」

1 ニーファイ 3 : 7

末日聖徒
イエス・キリスト
教会

[ChurchofJesusChrist.org/youth](https://www.ChurchofJesusChrist.org/youth)

ヤングアダルト

新しいスタートを切る
用意はできていますか？

ヤングアダルトが悔い改め、
救い主に近づこうとする
話を伝えます。

42



青少年

2020年ユーステーマ

56, 60,
64

両親

今年の
モルモン書
読書進度表を
活用してください。

F12

末日聖徒
イエス・キリスト
教会



JAPANESE

ワールド

2020年1月号

『リアホナ』の子供のコーナー、末日聖徒イエス・キリスト教会発行

モルモン書^{しょ}を
よ^よ読みましょう!
12ページ^みを見てください。



ラッセル・M・
ネルソン大管長

とうとい モルモン書



モルモン書はあなたにとってどれくらいとうといものですか。ダイヤモンド、ルビー、あるいはモルモン書を差し出されたとしたら、どれを選びますか。モルモン書はほんとうに神の言葉です。イエス・キリストについて教えています。

どうぞ、毎日モルモン書を読んでください。学んでいることについて、いのり、考え

てください。
そうするときに、次のことを約束します。



「イスラエルの集合への姉妹の参加」『リアホナ』2018年11月号、68-70および「モルモン書——この書物なしの人生とは」『リアホナ』2017年11月号、60-63をもとに書かれました。



救い主をもっと身近に感じるようになります。



毎日、よりよい決断をするようになります。



天父は、あなたを助け、うながしてくださいます。



ゆうわくを克服できるようになります。



なぐさめられ、強くされ、元気づけられます。



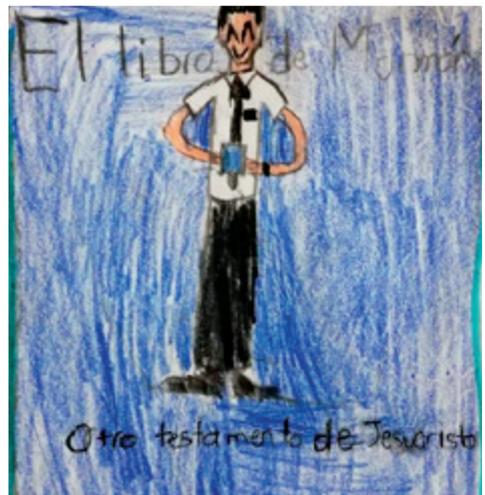
変化ときせきが起り始めるでしょう。



モルモン書は
あなたにとってどれくらい
とうといものですか。

今年、わたしたちはとうといモルモン書に
ついでの物語や写真、絵を集めています。

それらはてんじされ、
一部は機関誌にけいさいされます。

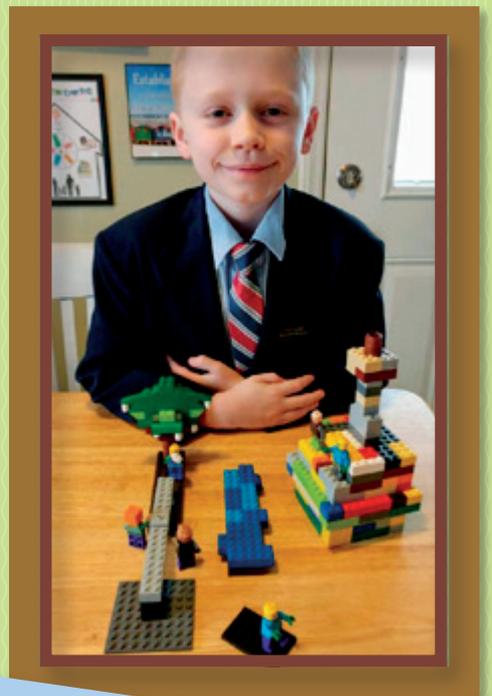


アリ・K, 9才 (メキシコ, ヌエボレオン)



わたしが字を読めるよう
になると、お母さんはわ
たしにモルモン書を入れて、
バプテスマのじゅんぴのため
にモルモン書を読むようにと
言いました。それから、毎日
モルモン書を読んでいます。
お気に入りのお話は、リーハ
イがリアホナを見つけたと
ころです。

ケイラ・S, 7才
(メキシコ, メキシコシティ)



「命の木」ラッセル・K, 8才
(アメリカ合衆国,
ノースカロライナ州)



ぼくは学校のクラスメー
トの一人にモルモン
書をあげました。

フェリペ・M, 9才
(ブラジル, サンパウロ)

あなたの作品や経験談を
送ってください

1. モルモン書についての絵をかく、写真をとる、または文章を書く。
2. それをわたしたちに送ってください。
3. 毎月『フレンド』をよく読んで、モルモン書を読むようにというネルソン大管長のすすめに子供たちがどのようにした
がっているかを見てください。



バトバヤルと

教会機関誌

リチャード・M・ロムニー

(ほんとうにあったお話をもとに書かれました。)

モンゴルの、ある風の強い日のことです。9才のバトバヤルは放課後、バス停から家に向かって歩いていました。風の中、コートをさらに強くだきしめました。幸い、バトバヤルの住む、おじいちゃんとおばあちゃんの家までそう遠くはありません。

「ただいま!」バトバヤルは家に入りながら言いました。

「おかえり」とおばあちゃんがいきました。「おやつにホーシヨール〔訳注——モンゴルで作られている料理。ミートパイのようなもの〕を作ったわよ。」

「ありがとう!」バトバヤルは、温かくてスパイシーなホーシヨールに手をのばしました。

「待って! 宣教師が来るまで食べちゃダメだ」とおじいちゃんがいきました。「すぐに来るだろうから。」

バトバヤルは、おばあちゃんとおじいちゃんの教会の宣教師が来てくれるのが大好きでした。いつもたくさんのお話を教えてくれました。でも、一つだけ問題がありました。

「モルモン書を読んでって、また言われるかな?」バトバヤルはたずねました。「読むのは苦手なんですけど。」

「だから、今日は別の本を持って来てくれるのよ」とおばあちゃんがいきました。

「どんな本?」バトバヤルは言いました。

「もうすぐ分かるわ」とおばあちゃんがいきました。

やがて宣教師が到着しました。宣教師と一緒に、



おばあちゃんのおいしいホーシヨールを食べました。それから、バトバヤルは言いました。「本を持って来てくれたっておばあちゃんと言ってたんだけど。」

「きっと気に入ると思うわ」とハイツ姉妹がいきました。「絵がたくさんのもってるの。」

バトバヤルが表紙を見ると、モルモン書ものがたりと書いてありました。表紙の絵には、船をつくる人々がえがかれていました。

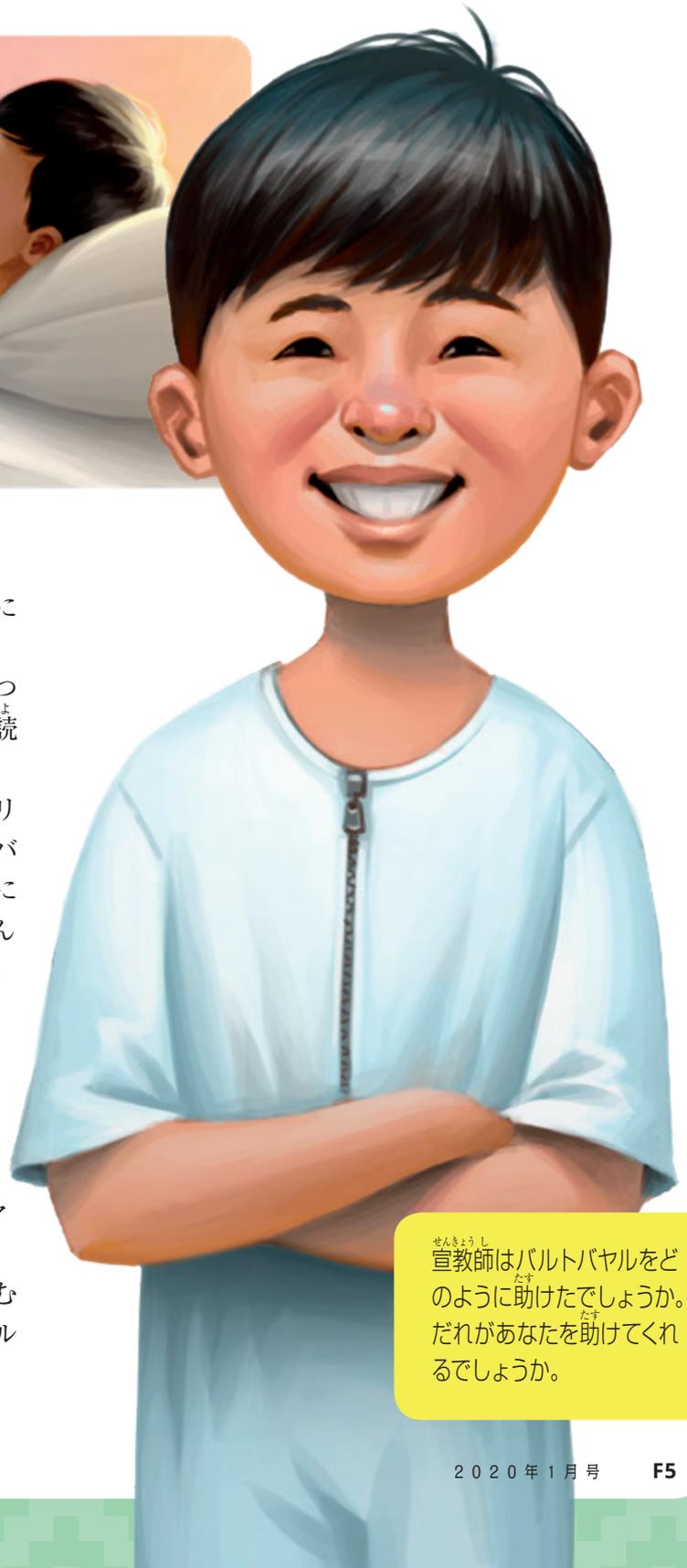
「その話、覚えてるよ」とバトバヤルは言いました。「その男の人は船のつくり方を知らなかったから、いのったんだ。そうしたら、神様が助けてくださったんだよね。」

「そうよ」エンクツヤ姉妹がいきました。「この本を読んでみる? そうしたら、本が教えていることがほんとうかどうか分かるよ、いのることができるわ。」

「うん、そうする」とバトバヤルは約束しました。

そのばん、バトバヤルはその絵本を読みました。船についての物語を読みました。それから、いのりました。バトバヤルは、船をつくった男の人や、神が

えほん 絵本



どのようにその人を助けたかを考えながらねむりに着きました。

そのときからずっと、バトバヤルは毎晩物語を一つずつ読み、それから、いのりしました。そして毎晩、読んだことについて考えながらねむりに着きました。

姉妹宣教師は次に訪問したときに、イエス・キリストについてもっとバトバヤルに教えました。バトバヤルは預言者について学びました。神のいましめについても学びました。バトバヤルは、おばあちゃんとおじいちゃんと一緒に教会に通い続けました。そして、読み続け、いのり続けました。

ある日、バトバヤルは、おじいちゃんとおばあちゃんに大切な話をしようと思いました。「あの絵本の物語を読んだときに、心の中でいい気持ちがあったんだ」と言いました。「いのると、物語が真実だと感じたよ。だから、バプテスマを受けた方がいいと思うんだ。」

今、バトバヤルは教会の会員です。どんどん読むのが上手になっています。そして、今でも毎晩モルモン書を読んでいます！ ●

宣教師はバトバヤルをどのように助けたでしょうか。だれがあなたを助けてくれるでしょうか。

モンゴル
から
こんにちは!



マルゴと
パオロです。

わたしたちは、
世界中を旅しながら
神の子供たちについて
学んでいます。
一緒にモンゴルを
おとずれてみましょう!

モンゴルはアジアの国で、中国と
ロシアの間にあります。

モンゴルには、
人よりも馬の方が
たくさんいます!
モンゴルのお祭りでは、
馬の競争をしたり、
アーチェリーや
レスリングをしたり、
おどったり、
おいしい食べ物を
食べたりします。



モンゴルには 300 万人くらいの人^{ひと}がいて、
そのうち 12,000 人が教会員^{きょうかいいん}です。
この写真^{しゃしん}の中で、あなたの家族^{なかとく}と同じところはどこでしょう
ちがうところはどこでしょう。



これは *Mormonpi Hom*,
すなわち、モルモン書^{しよ}です。



モンゴルの多くの家族は首都であるウランバートルに住んでいます。



ほかの家族は郊外に住んでいます。その人たちはゲルとよばれているテントに住んで、ヤクや馬、ラクダなどの動物の世話をしています。

ヤクはウシに
にっていますが、
毛がもっとふさふ
さしています。



モンゴルの友達を しょうかいします！



わたしは、イエス・キリストが神の御子で、わたしやすべての場所にいる子供たちを愛しておられることを知っています。わたしは教会と初等協会に行くのが大好きです。教会に行くと、イエス様について学べるからです。

ビレット, 7才



わたしたちには生ける預言者、ラッセル・M・ネルソン大管長がいることを知っています。預言者は、真実のことを教えてください。

ゲレルチメグ, 4才

一緒にモンゴルを
たんけんしてくれてありがとう。
また会いましょう！

モンゴルのお友達のみなさん、
ぜひわたしたちに手紙を送ってください！
みなさんのお話をぜひ聞かせてください。



中央初等協会会長

ジョイ・D・
ジョーンズ姉妹

毎日

少しずつ良くなる

子供のころ、わたしはバイオリンを習っていました。きれいな音を出したいと思っていました。両親のためにひいて、「ジョイ、美しいね」と言ってほしかったのです。でも、美しい音は出ませんでした。ギーギーという音を立てました。

時折、練習をしていないと、先生はこう言いました。「ジョイ、今週練習した？」それを聞くと、次の週はもっと上手にひけるように、練習したいと思いました。

今思うと、バイオリンをひくことはむずかしかったのですが、良い経験でした。いつも練習が好きだったわけではありませんが、毎日少しずつ練習するために目標を設定することからたくさん学ぶことができました。

みなさんもぜひそうしてください。毎日、少しずつ良くなるよう努力してください。天のお父様はみなさんに、一度にすべてのことができるようになるよう期待してはおりません。人生は、一度に少しずつ学び、成長するものです。天のお父様はみなさんに、努力し続けてほしいと望んでおられます。そして、その成長を楽しんでほしいと望んでおられます。

時々、わたしは自分にきびしくなってしまう。「失敗した。わたしにはできない」と考えて、あきらめてしまうのです。でも救い主は、「やり続けなさい。わたしがここにいて助けますから」とおっしゃっています。イエス・キリストのおかげで、わたしたちはひとりでがんばる必要はありません。主の助けをいただいて、起き上がってやり直すことができるのです。それが人生というものです。

みなさんに心から知ってもらいたいことが一つあるとすれば、天のお父様がみなさんのことを愛しておられるということです。むずかしいことに直面するかもしれませんが、みなさんはこの時代に地上に来ようそなえられてきたのです。努力をやめず、光を分かち合い続けてください。天のお父様は、あなたが聖約の道にしたがって歩むときに、祝福とみちびきをあたえてくださるでしょう。●



教会は、7才以上の
子供向けの

『子供のガイドブック』
を新しく作りました。

みなさんが学び、
成長するのを助けて
くれるでしょう。



イエスのように成長する

あたら さいじん せいちょう こども つか ねんれい せいちょう
新しい『個人の成長——子供のガイドブック』を使って、イエスがみなさんの年齢だったときに成長されたように
あなたが成長するために、役立てることができます。新しいことを楽しくやってみることもできます。

霊的な面

イエスはますます神から愛されました。



社会的な面

イエスはますます人から愛されました。



身体的な面

イエスの背たけはのびました。



知的な面

イエスは知恵において成長されました。

「イエスはますます知恵が加わり、背たけも伸び、そして神と人から愛された。」(ルカ 2:52)

あやまる



ミンチャン・K, 11才 (韓国, 京畿道)

ある日学校で、数人のクラスメートが別の生徒の悪口を言ってからかっていました。おもしろそうだったので、ほくも仲間に加わりました。数週間にわたって、ほくは友達と一緒にその子をからかい続けました。

その後、その男の子がほくに気持ちを打ち明けてくれました。からかわれていることを気にしていないふりをしていましたが、ほくたちの言葉にきずついていました。毎晩泣いていたと言いました。それを聞いたとき、ほくは泣きそうになりました。かれを助けたいと思いました。そして、かれに言ってしまったことをあやまることにしました。

そこで次の日、かれのそばに行き、かれのかたにうでを回して、言いました。「からかって、ほんとうにごめんね。」かれは、目になみだをためながら、ほくの言葉にうなずきました。

た。でも、ほかの子供たちはまだかれをからかい続けていました。そのとき、初等協会で学んだことを思い出しました。正義を選ぶ、ということです。

ほくは勇気を出してクラスメートに言いました。「もうあの子をからかわないで！かれがどんなにつらい思いをしているか知ってる？自分がしたことをあやまって、仲良くなってほしいんだ。」

でも、かれらは簡単には変わりませんでした。それどころか、ほくに対しておこって、「突然どうしたんだい？お前もいつのことをからかったじゃないか！」と言ったのです。

ほくはまだ、自分が前にしてしまったことを申しわけなく思っていたので、「ほくはもうあやまったよ。みんなにも、あの子の気持ちを分かってほしいし、からかうのもやめてほしいんだ」と言いました。

一人の子はあやまり、ほくたち3人は仲良しになりました。まだ数人はからかっていますが、ほくたちがいるので、かれは元気になりました。これからも、こまっている友達を助けることにより正義を選びます。●



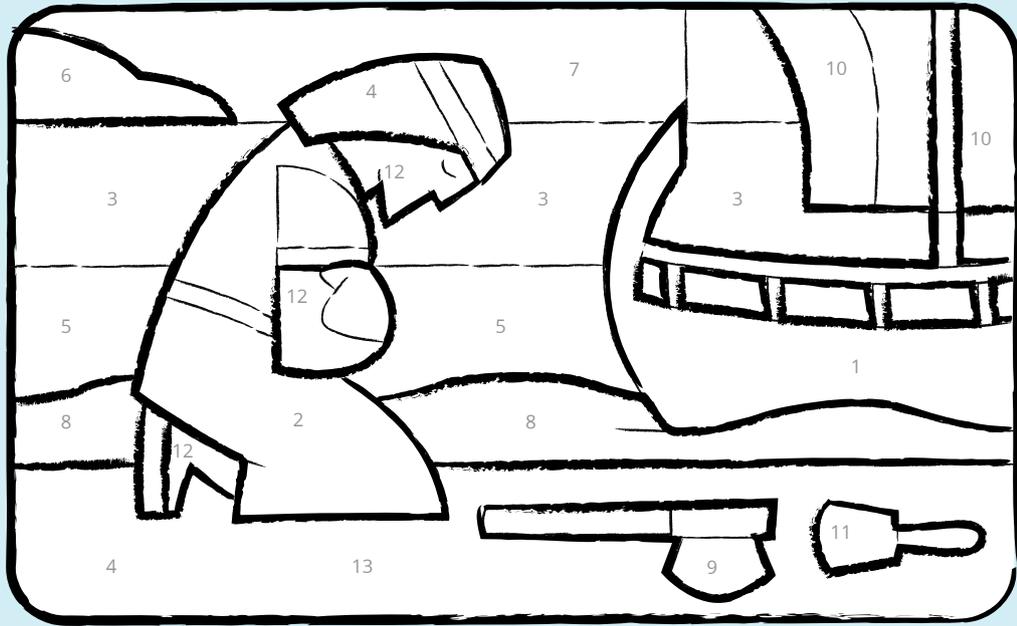
親切にするというチャレンジ
学校や初等協会で初めて来た子を見かけたら、笑顔であいさつしましょう。

モルモン書を読むための 8つのアイデア

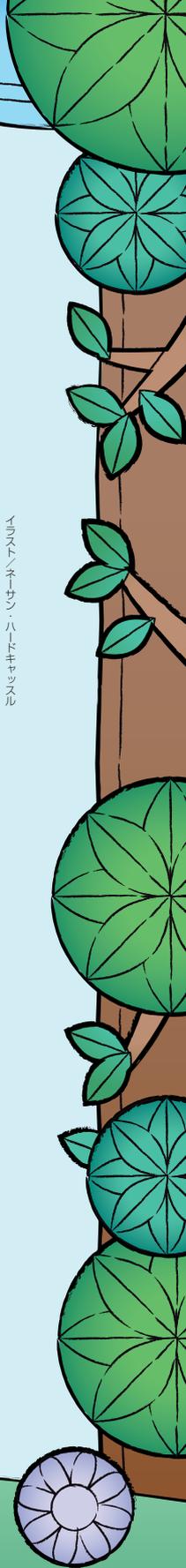
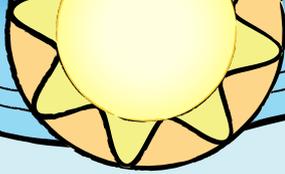
1. 仲間を見つけ、一緒に読む。
2. イエス・キリストについての節に印をつける。
3. お気に入りの場面の絵をえがく。(絵をわたしたちに送ってください! F3 ページを参照してください。)
4. 絵本の『モルモン書ものがたり』を読む。
5. F12 ページの、色をぬる読書進度表を使う。
6. 福音ライブラリーアプリで聖典を音声で聞く。
7. お気に入りの物語のげきをする。
8. モルモン書ビデオをオンラインで見る。



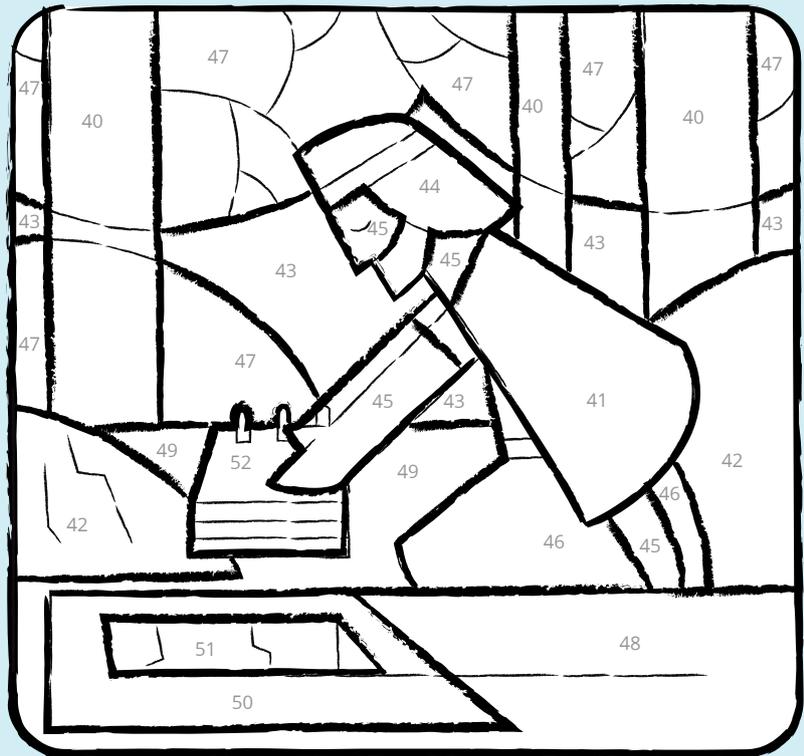
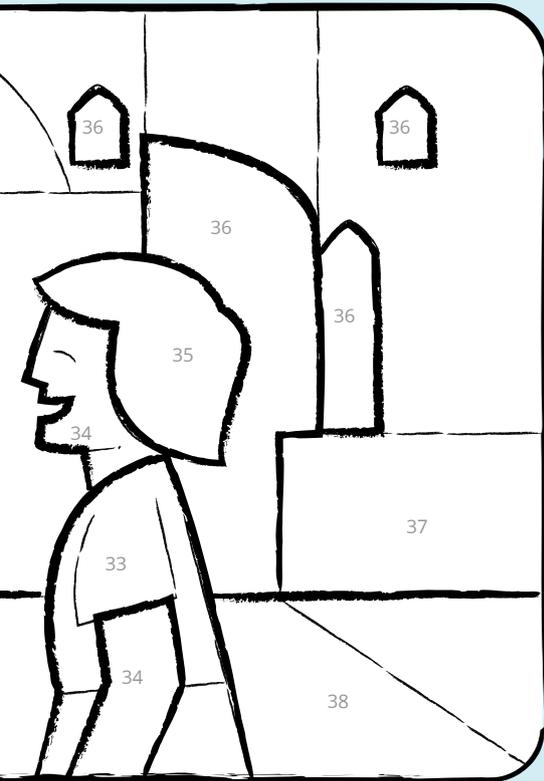
今年、F14 ページにある、それぞれの週のせいくをよむことにより、『わたしにしたがってきなさい』のレッスンと同じ進度で進むことができます。よんだら、それらのページの該当するところに色をぬります。モルモン書を読むときに、イエス・キリストについてのあかしが育まれるでしょう。



わたしはモルモン書を



イラストレーター：ハードキャッスル



よ
読むことができます

モルモン書読書進度表

これらのせいくは、2020年の各週の『わたしにしたがってきなさい』のレッスンの進度に対応しています。

1. モルモン書の序文： 1, 8 - 9 段落	18. モーサヤ 8 : 16 - 18	36. ヒラマン 13 : 2 - 3 ; 14 : 2 - 8
2. 1 ニーファイ 3 : 7 ; 4 : 1, 4 - 8, 17, 38	19. モーサヤ 13 : 1 - 5	37. 3 ニーファイ 1 : 8 - 15
3. 1 ニーファイ 8 : 10 - 12, 19 - 22	20. モーサヤ 18 : 1, 8 - 16	38. 3 ニーファイ 11 : 8 - 17
4. 1 ニーファイ 11 : 1 - 6, 24 - 27	21. モーサヤ 27 : 23 - 26	39. 3 ニーファイ 12 : 13 - 16
5. 1 ニーファイ 16 : 18 - 20, 23 - 24, 28 - 31	22. アルマ 2 : 27 - 31	40. 3 ニーファイ 17 : 6 - 10, 20 - 24
6. 2 ニーファイ 2 : 25 - 28	23. アルマ 5 : 14 - 16	41. 3 ニーファイ 19 : 25 - 28
7. 2 ニーファイ 9 : 49 - 52	24. アルマ 8 : 14 - 22	42. 3 ニーファイ 20 : 3 - 9
8. 2 ニーファイ 25 : 23, 26, 29	25. アルマ 14 : 26 - 28	43. 3 ニーファイ 27 : 3 - 10
9. 2 ニーファイ 27 : 23 - 26	26. アルマ 19 : 16 - 17, 28 - 30	44. モルモン 1 : 2 - 5
10. 2 ニーファイ 31 : 4 - 12, 20	27. アルマ 26 : 12 - 16	45. モルモン 9 : 21 - 25
11. モルモン書ヤコブ 4 : 6 - 8, 12 - 13	28. アルマ 31 : 31 - 38	46. エテル 3 : 4 - 14
12. モルモン書ヤコブ 5 : 71 - 75	29. アルマ 32 : 26 - 31	47. エテル 6 : 3 - 9, 12
13. エノス 1 : 3 - 12	30. アルマ 37 : 6 - 7, 33 - 37	48. エテル 12 : 27 - 29
14. 2 ニーファイ 9 : 6 - 8, 11	31. アルマ 40 : 9, 23 - 25	49. モロナイ 4 : 1 - 3 ; 5 : 1 - 2
15. アルマ 7 : 11 - 13	32. アルマ 46 : 12 - 15	50. モロナイ 7 : 45 - 48
16. モーサヤ 2 : 5 - 7, 17 - 19	33. アルマ 56 : 44 - 48, 56	51. モロナイ 10 : 3 - 6, 32
17. モーサヤ 4 : 9 - 12	34. ヒラマン 5 : 12 - 14	52. 1 ニーファイ 11 : 16 - 23
	35. ヒラマン 10 : 2 - 7	

キリスト^{つた}伝える^{しよ}モルモン書

明るく ♩ = 72

詞・曲 ネイサン・ハウ

F B^b B^b Am B^b Gm⁷ Am Dm⁷

1. リー ハ イ の か ぞ く は しゅ に し た が い た び だ ち もう
 2. し ん ちゅう の は ん は リー ハイ の た み に しゅ お し え よ
 3. よ み が え ら れ た しゅ ア メ リ カ を お と ず れ て わ

E^b Dm Am⁷ B^b Gm⁷ C⁷ F

い ち ど も ど っ た い せ い ぶ ん さ え り た め た
 げん しゃ に もし ど た が いた せ い ぶ ん さ え り た め た
 た し の よう な こ を しゅ く ふ く さ くれ た キ

B^b7 C Am⁷ Dm⁷ F B^b Gm⁷ C⁷ F

リ ス ト つ た え る モ ル モ ン し ょ の こ と ば か み さ

Gm⁷ A Dm B^b Gm⁷ C⁷ F

ま の こ え き こ え み た ま か ん じ る よ

© 2020 by Nathan Howe. All rights reserved.

教会あるいは家庭における一時的または非営利目的の使用に限り、
 この表示を含めて複製することを許可する。

2020年1月号

F15

モルモン書切り絵

この絵を切りぬいて、リーハイとサライアの家族の物語のげきをしましょう。
例えば、ニーファイの姉妹たちや弟たちなどの絵をかいて、
物や人物をふやしてもよいでしょう。

ニーファイ、真鍮版を手に入れる：
1 ニーファイ 4 章

リーハイ、リアホナを受け取る：
1 ニーファイ 16：9 - 11, 16

ニーファイ、自分の弓を折る：
1 ニーファイ 16：17 - 24, 30 - 31

ニーファイ、船をつくる：
1 ニーファイ 17：7 - 11, 16 - 18, 52 - 55



ニーファイ



サライア



リーハイ



サム



レーマン

レムエル



あなたの^{かんが}えを聞かせてください

わたしは、^{きょうかい}教会で^{せいぶん}聖文を^{まな}ぶのが好きです。でも、^{かぞく}家族が^{せいてん}聖典を
^よ読まない^{ばあい}場合、^{いえ}どうすれば^{けんきゆう}家で研究できるでしょうか。
——^{しつもんしゃ}ザルツブルグの質問者

^{しつもんしゃ}質問者様、

^{かぞく}家族が^{せいてん}聖典を研究しなくても、あなた
はできるということをおぼえておき
ましょう！^{まいにち}毎日少しずつだけでも、
^{じぶん}自分で読むよう^{さいだいいん}最大限努力しましよ
う。F12 – F14 ページの^{どくしょしん}読書進
度表を使って^よ読み始めるとよいでしょ
う。F11 ページにあるほかのアイ
デアも読んでみましょう。

ほかの人と^{せいてん}聖典を読むか、^{じぶん}自分だけ
で読むかにかかわらず、^{せい}せいいいは
ともにいてくださいます。

あなたはひとりではありません！

『フレンド』より

^{つい}追記：これは、あなたのための^{せいてん}聖典
^{よう}用しおりです。切りぬいて、たて半
^{ぶん}分に折^おり、テープやのり^あではり合
わ^{つか}せて使^{つか}いましょう。



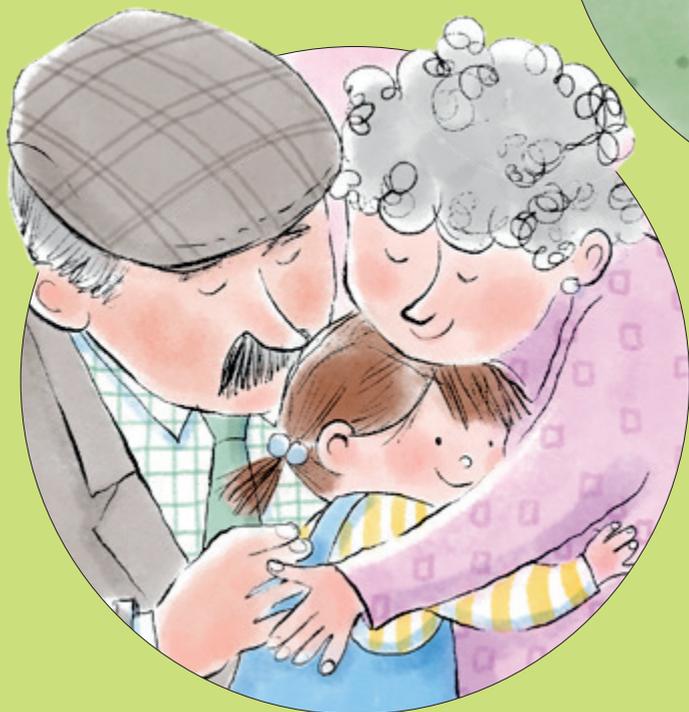
^{かみ}「神の子が、
^{かみ}神とその^{あい}愛する
^{おんこ}御子について
さらに^し知ろうと
^{つと}努めるとき、
^{おお}大いなることが
^お起こります。
モルモン^{しよ いがい}書以外に
このような^{しんり}真理を
はっきりと^{ちからびよ}力強く
^{おし}教えている^{しよもつ}書物は
ありません。」

ラッセル・M・ネルソン大管長
「モルモン書 —— この書物なしの人生とは」
2017年10月総大会



^すわたしの好きな
せいく





最高のハグ!

ローリ・フート

(ほんとうにあったお話をもとに書かれました)

エリーはハグが大好きでした。お父さんからのハグ。おばあちゃんやおじいちゃんからのハグ。お母さんからのハグ。ハグをすると、温かい気持ちになります。安心します。幸せを感じます。

だから、エリーは教会にいる間、お母さんをハグしました。お母さんのひざの上ですわるのが大好きです。お母さんはいつもエリーをギュッとだきしめてくれました。

聖餐会が終わりました。初等協会の時間です。エリーは初等協会が大好きでした。



エリーはもうお姉さんです。3才です。自分の聖典も持っています。

でも今日は、お母さんをずっとハグしていたと思いました。

お母さんはエリーをだいて廊下を歩いて行きました。初等協会の教室に入ると、お母さんはエリーを椅子にすわらせました。

「お母さんと一緒に行っちゃだめ?」とエリーは言いました。

「だめよ」とお母さんが言いました。やさしい声でした。「あなたは自分のクラスに出ないとだめよ」とお母さんは言いました。「わたしも自分のクラスに出ないといけないのよ。」

お母さんはエリーのほほにキスしました。それから、ドアから出て行きました。

エリーはなみだがほほを伝って落ちるのを感じました。

お母さんがだきしめてくれるときのことを考えました。お母さんはいつも、モルモン書を読むときにだっこしてくれました。いつも家族で読んでいます。でも、時々エリーとお母さんだけで読むときもあります。

エリーはモルモン書を手に取りました。中には、イエス様の絵がありました。

エリーはモルモン書をとじてだきしめました。イエス様をハグしているような気持ちがしました。



あたたかい気持ちになりました。安心してました。
しあわせを感じました。最高のハグでした! ●

ひっしや 筆者はアメリカ合衆国ユタ州に住んでいます。

エリーが悲しかったときに、エリーを元気にしてくれたのは何ですか。

真鍮のはんを手に入れるニーファイ



リーハイとサライアの家族は約束の地に向かって旅をしていました。
神はリーハイに、聖文を取って来るために、息子たちをエルサレムに
送り返すようにと言われました。聖文は金属のはんに書かれていました。

レーマンとレムエルは、それはむずかしすぎる
と言いました。でもニーファイは、行って、
神が命じられたことを行うと言いました。
サムはニーファイのもはんにしたがいしました。



みたまはニーファイに、真鍮のほんをラバン
という名の悪人から手に入れる方法を
教えてくださいました。



ニーファイと兄弟たちは真鍮のほんを家族のもとに持って帰りました。
リーハイとサライアはとても喜びました。かれらは真鍮のほんに書かれた聖文を
研究しました。神のいましめについて学びました。



わたしは家族が聖文を研究するのを助けることができます。わたしはニーファイのように
勇敢に、神が命じられたことを「行って、……行おう」ことができます。●

1 ニーファイ3-5章にある、この物語について読みましょう。

色をぬりましょう

せいぶん けんきゅう かぞく
聖文を研究するリーハイの家族



あなたの好きな聖文の物語は何ですか。

アキラ・モリス・アキラ

親愛なる両親の皆さん

皆さんと一緒に新年を迎えられることをうれしく思います。わたしたちは、これからモルモン書を一緒に学びます。あなたの家族は、モルモン書のどの物語が好きですか。子供たちが物語の絵を描けるよう助け、それをお送りください（F3 ページ参照）。今年、それらの絵の一部がこの機関誌に掲載されることでしょうか。今月号のモルモン書についてのその他のページを紹介합니다 ——

- 預言者からのメッセージ（F2 ページ）
- 読書進度表（F12 – F14 ページ）
- 聖文の物語の活動（F16 ページ）
- リーハイとサラリアの家族の物語（F20 – F23 ページ）
- モルモン書の新しい読み方を見つけた男の子についての物語（F4 – F5 ページ）

良い年をお迎えください！
『フレンド』

子供の美術作品や体験談を 『リアホナ』に送る方法

liahona.ChurchofJesusChrist.org にアクセスし、「投稿する」をクリックしてください。または、liahona@ChurchofJesusChrist.org へ電子メールで送り、あなたの子供の氏名と年齢、居住地と次の承諾文を書き添えてください。「わたし〔あなたの氏名を挿入する〕は、末日聖徒イエス・キリスト教会が、わたしの子供の投稿品を教会の機関誌や教会のウェブサイトおよびソーシャルメディアプラットフォーム、そして場合によっては教会の報告書、印刷物、ビデオ、出版物、訓練資料に使用することを許可します。」皆さんからのお便りをお待ちしています！



なか
なかにかくれているリアホナをさがしましょう！

目次

- F2 大管長会から：とうといモルモン書
- F4 バトパヤルと絵本
- F6 モンゴルからこんにちは！
- F8 毎日少しずつ良くなる
- F9 イエスのように成長する
- F10 大切な思いやり：あやまる
- F11 モルモン書を読むための 8 つのアイデア
- F12 わたしはモルモン書を読むことができます
- F15 音楽：キリスト伝えるモルモン書
- F16 楽しい活動：モルモン書切り絵
- F17 あなたの考えを聞かせてください
- F18 最高のハグ！
- F20 聖文の物語：真鍮のはんを手に入れるニーファイ
- F23 色をぬりましょう：聖文を研究するリーハイの家族

『フレンド』の表紙
イラスト/アンドリュー・ボズリー